

地域別構想

(白紙ページ)

7章 地域別構想

1 地域別構想の考え方

1) 地域別構想とは

地域別構想は、全体構想に示された都市づくりの方針等を受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくり目標を設定し、それを実現するためのまちづくり方針を明らかにするものです。そこで、地域別構想の策定にあたっては、各地域の現況特性や全体構想における位置づけ、市民アンケート結果を踏まえつつ、令和3年度に開催された地区別タウンミーティングで出されたアイデア等を参考としながら、地域のまちづくり目標やまちづくり方針を設定します。

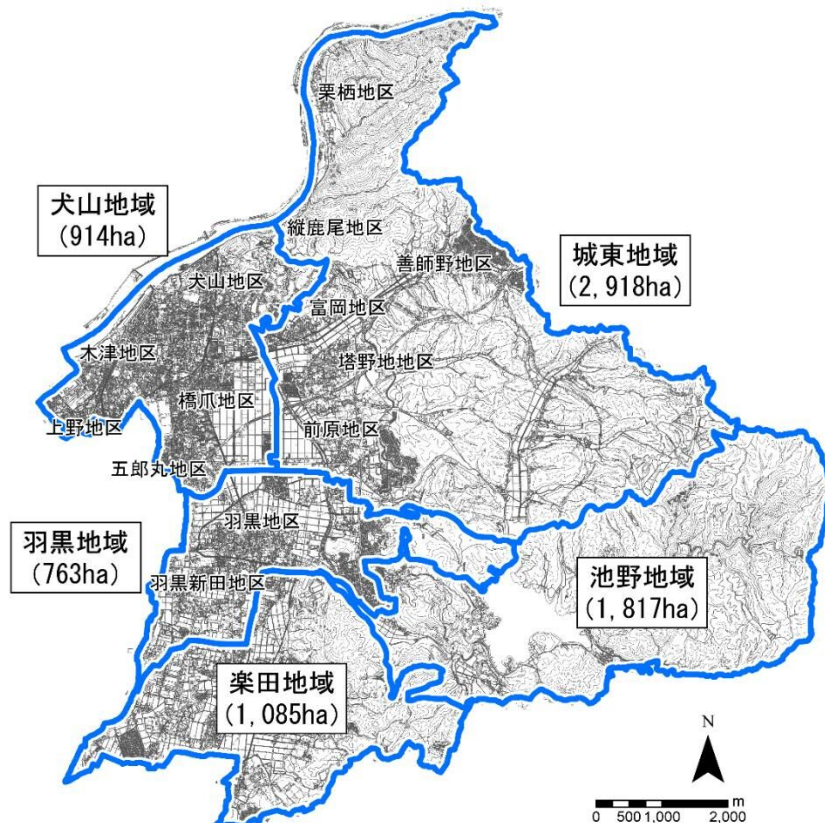
2) 地域区分

地域別構想における地域区分は、前計画を踏襲して、以下の考え方により設定します。

- ①全体構想における拠点の配置や市街地のまとまり、郊外部での集落地や一団の住宅団地の分布状況を勘案して設定
- ②都市（地域）の生い立ち（町村合併等の経緯）や社会的圏域（大字界等）を勘案して設定
- ③地域としての一体性やまとまりが地域住民に理解されやすい地域となるよう配慮して設定

※本市の市街地は、大きく犬山、羽黒、楽田の3つに分かれています。都市拠点及び地区拠点を中心としたこれら各々の市街地が1つの地域となるように、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区割により、「犬山地域」、「羽黒地域」、「楽田地域」に区分します。

※市街地を含まない主に市東部の区域（大半が市街化調整区域）についても、上記と同様に、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区割により、2つの地域（「城東地域」、「池野地域」）に区分します。



■図 地域区分

2 各地域のまちづくり構想

1) 犬山地域

① 犬山地域の現状

● 地域の概況

- ・ 犬山地域は市の北西部に位置し、地域北部には木曾川が流れ、それを挟み各務原市と、地域南西部は丹羽郡扶桑町と隣接しています。
- ・ 犬山駅に加え、犬山口駅、犬山遊園駅の3つの駅が位置し、犬山駅周辺を中心に都市機能や居住機能が集積しており、また、犬山城とその城下町を抱え、歴史と文化が調和した中心市街地を形成しています。
- ・ 地域北部では、犬山城のほか、成田山名古屋別院大聖寺、日本モンキーセンター・モンキーパーク等の観光資源を多く有しています。
- ・ 地域南部には国道41号が東西に整備され、その沿道付近において総合病院や商業施設が集積立地し、生活利便性の高い地域となっています。
- ・ 高次都市機能の集積立地や県内有数の観光地でもある犬山城下町等を有し、市内で最も利用者数が多い犬山駅が位置する等、他地域からの鉄道やバス等でのアクセス利便性を活かした市の賑わいの中心として、魅力を高めることが期待されます。

犬山城



成田山名古屋別院大聖寺



(資料:犬山観光情報ウェブサイト)

犬山城下町



日本モンキーセンター・モンキーパーク



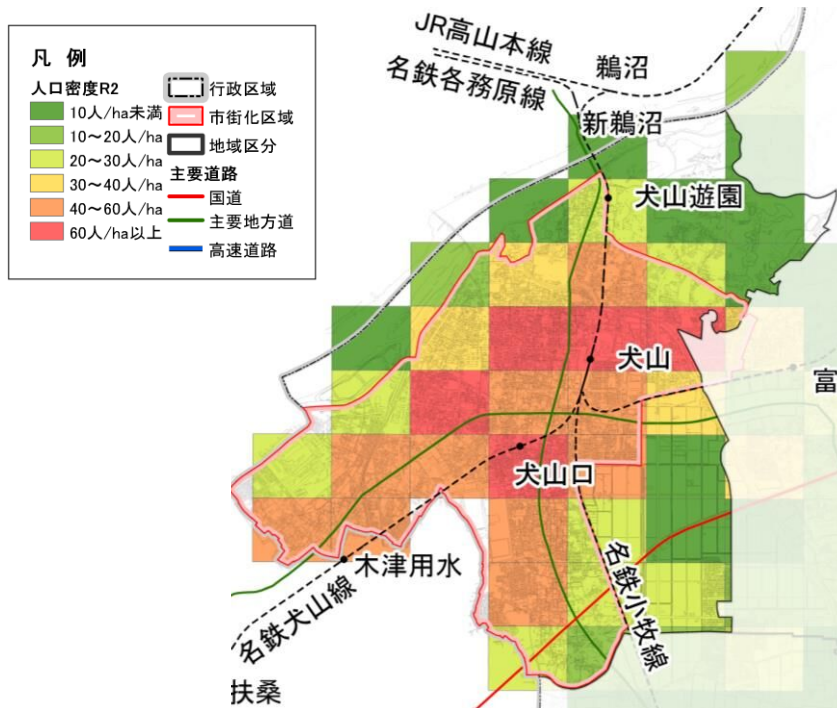
(出典:犬山観光情報ウェブサイト)



■ 図 犬山地域の概況

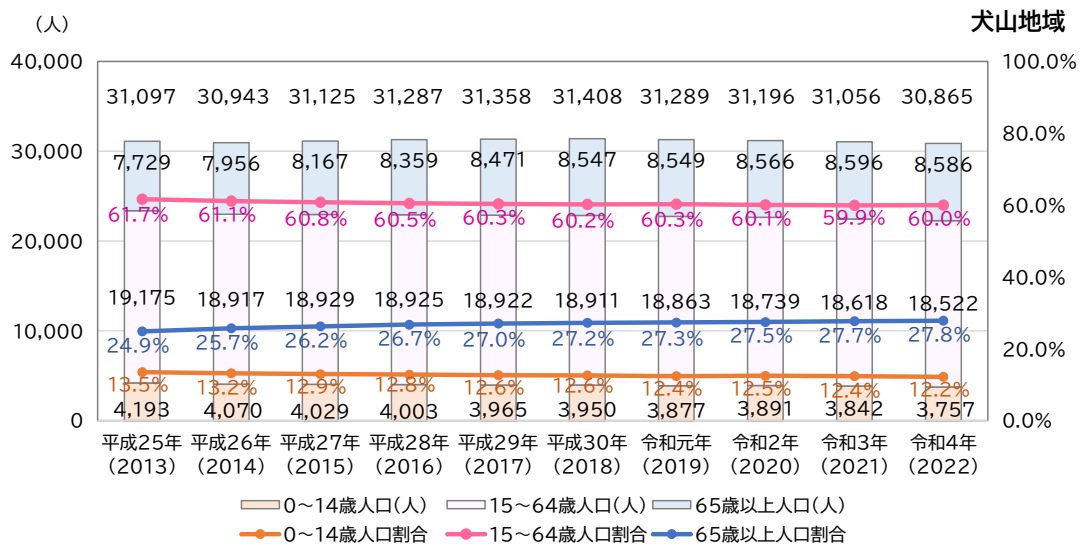
●人口

- ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で30,865人であり、本市の人口の42.5%を占めています。
- ・人口増減は、平成30年（2018年）までは増加傾向にありましたが、その後は減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年（2022年）時点で27.8%と市全体の29.4%より低くなっています。
- ・人口密度は、40人/ha以上の密度が確保された市街地が広がり、犬山駅周辺では最も高い傾向にあります。



■図 犬山地域の人口密度(令和2年)

(資料：国勢調査)



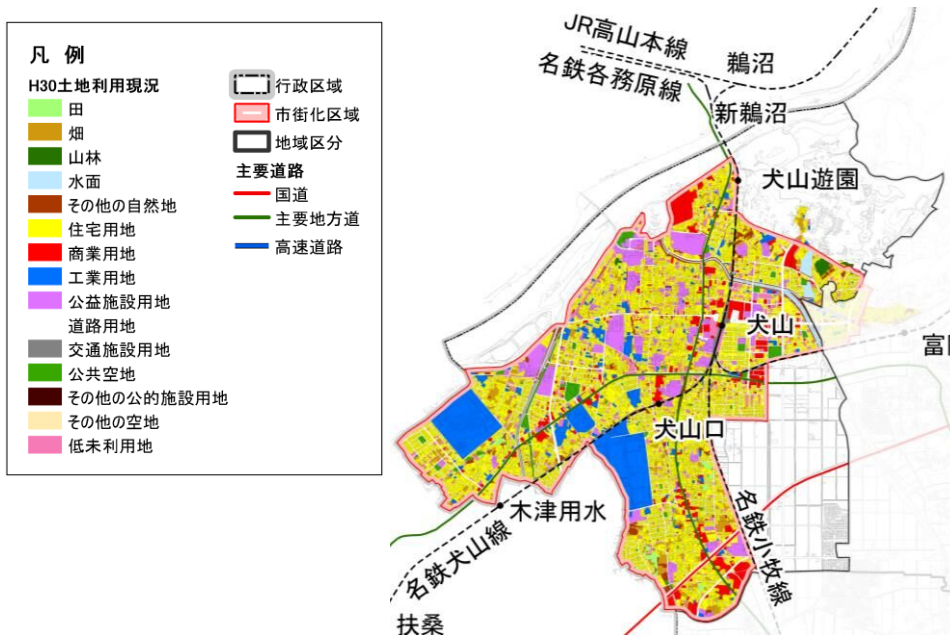
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

■図 犬山地域の階層別人口の推移

※各年3月31日時点(資料：犬山市)

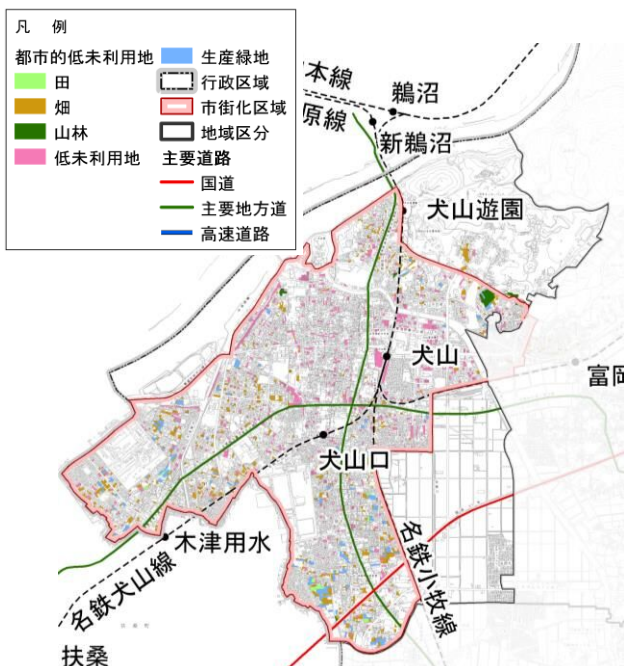
●土地利用

- ・市街化区域が本地域の大半を占めており、住宅地としての土地利用が主体となっていますが、地域北部の城下町周辺では、公共施設用地が多くみられます。また、商業地は、犬山駅、犬山駅及び犬山遊園駅周辺と幹線道路沿道に多く立地しています。
- ・工業地は、地域西部に広く分布し、大規模な工場も見られます。
- ・都市的低未利用地は犬山駅周辺に多くみられ、生産緑地は地域西部、北部及び南部に多くみられます。
- ・市街化調整区域の北東部では、森林をはじめテーマパークや社寺、公共施設が立地し、南東部には農用地が広がっていますが、一部の幹線道路では沿道商業施設の立地が進んでいます。
- ・空家等が地域全体に分布しています。



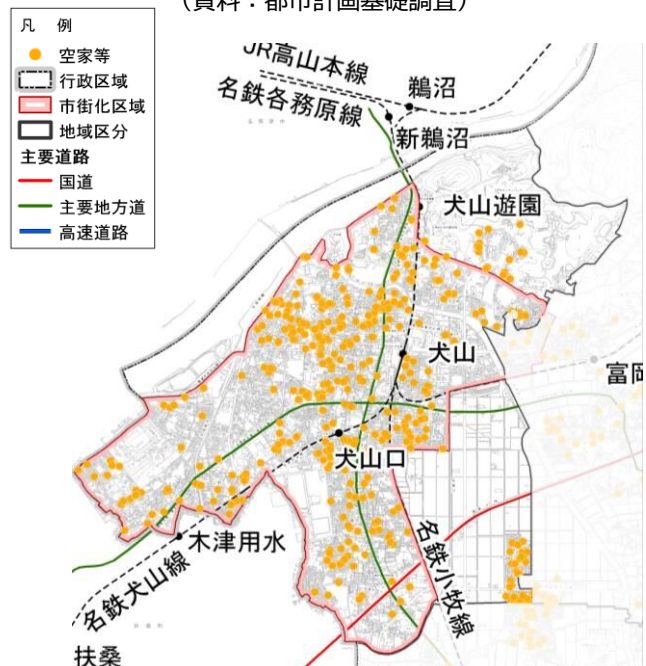
■図 犬山地域の土地利用現況（平成 30 年）

（資料：都市計画基礎調査）



■図 犬山地域の都市的低未利用地と生産緑地

（資料：都市計画基礎調査）

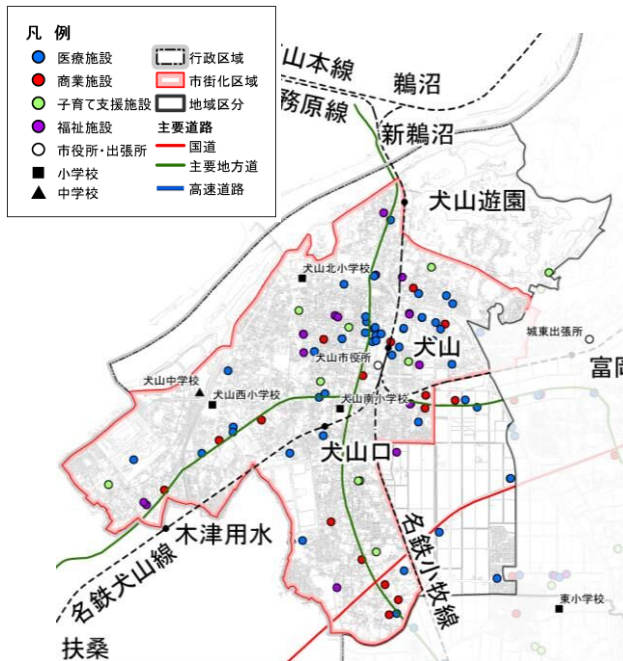


■図 犬山地域の空家等の分布

（資料：犬山市）

●施設分布状況

・犬山駅周辺に日常生活に密接に関連する各種都市機能が多く分布しています。



■図 犬山地域の都市機能分布

●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市)

●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市)

●公共交通

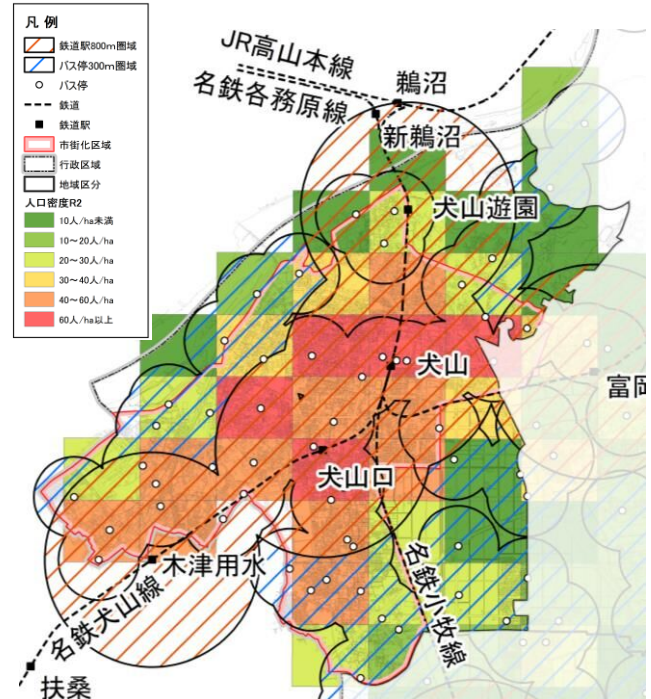
・市内鉄道駅は犬山駅、犬山口駅、犬山遊園駅の3駅が設置されています。

・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、犬山駅を中心に地域内は概ね鉄道、バスによる公共交通の徒歩圏域でカバーされています。



■図 犬山地域の鉄道駅・バスルート

(資料：国土数値情報)



■図 犬山地域の鉄道駅とバスの圏域

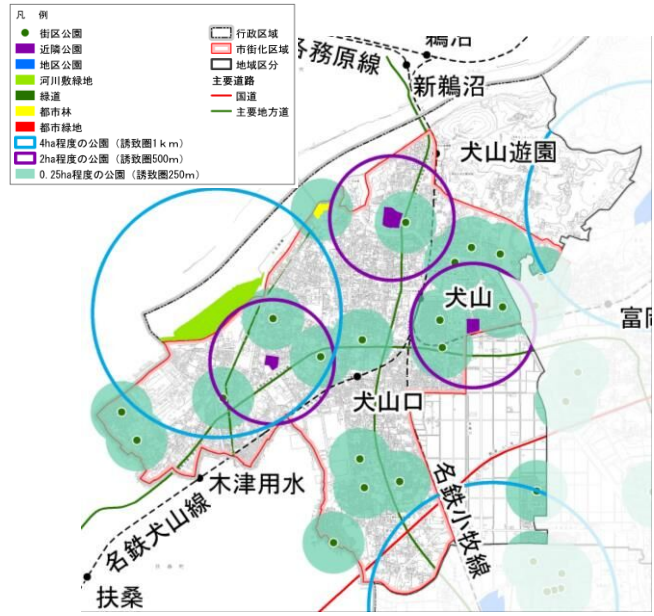
(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部で誘致圏外が見られます。



■図 犬山地域の道路整備状況



■図 犬山地域の公園整備状況

●災害リスク

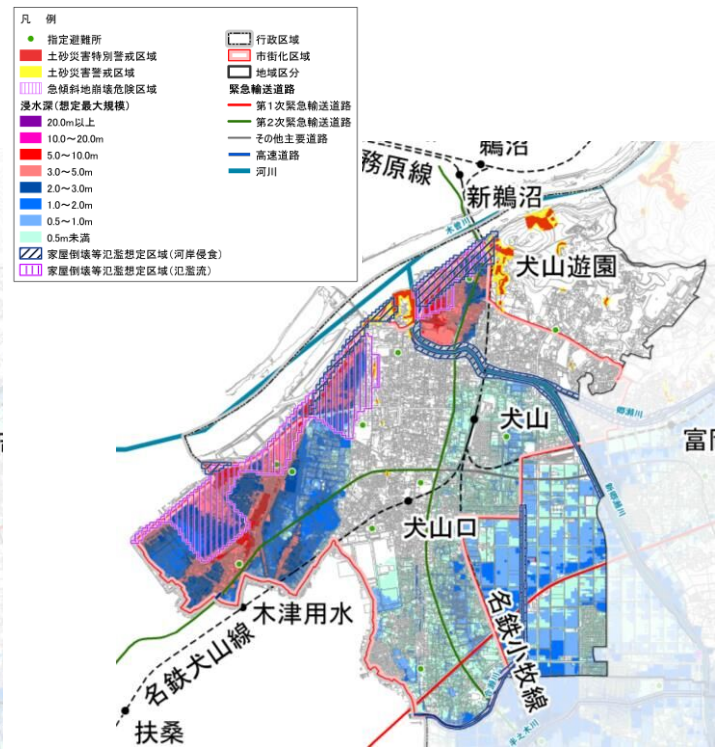
(資料：犬山市)

(資料：犬山市)

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域北部の傾斜地において指定されています。
- ・洪水による浸水想定区域は、想定最大規模では、木曾川に近い一部地域で 5.0～10.0m の浸水が想定され、地域東部でも広範囲の浸水が想定されています。また、木曾川沿いの市街地において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）が広範囲に及んでいます。



■図 犬山地域のハザードマップ（計画規模）
(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)



■図 犬山地域のハザードマップ（最大想定規模）
(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)
地域別構想 80

②犬山地域の住民ニーズ

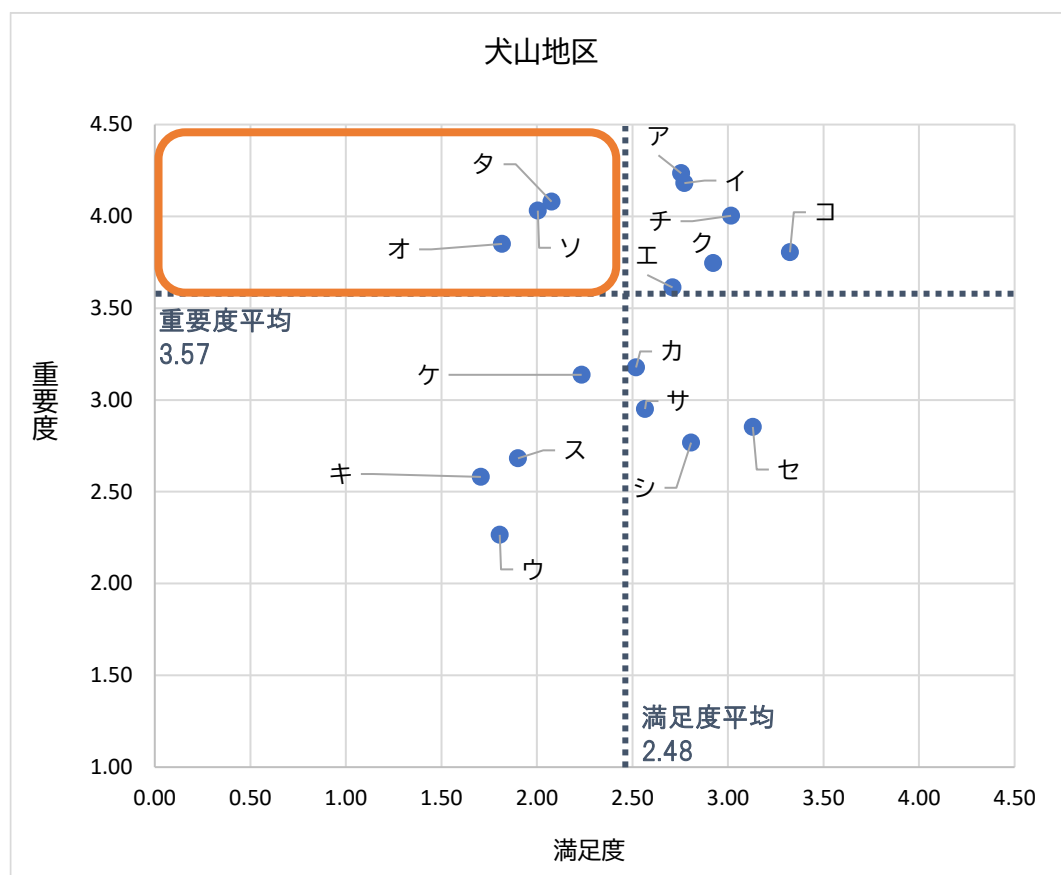
●市民アンケート

・犬山地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の3つがあげられます。

オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている



ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある
 イ 病院など医療・福祉施設が身近にある
 ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある
 エ 道路が整備され、車で移動しやすい
 オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
 カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある
 キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある
 ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
 ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
 サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
 シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
 ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
 セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
 ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
 タ 自然災害への対策が十分されている
 チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ

■図 日常の生活環境について（満足度×重要度）犬山地区

（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度（2021年度）に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

犬山地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

犬山地域

- ・にぎやかで人が集まるまち
- ・地元商店が生き活きと商売を続けているまち
- ・空き家が少ないまち
- ・大きいショッピングモールがほしい
- ・道の駅を整備
- ・狭い道路の解消
- ・車がなくても困らないまち
- ・明るい広い歩道をつくる
- ・駅から城下町までに歩行者用道路を確保
- ・バスが使いやすいまち
- ・必要なものが全て買えるまち
- ・木曽川で安全に遊べる地区をつくる
- ・子どもが遊べるまち
- ・お城を中心に歴史的文化遺産を整備
- ・すぐに災害の状況を把握できるようにする
- ・新郷瀬川を安全になるよう整備
- ・城下町の営業時間を延長
- ・地域の商店が集結した城下町にする
- ・古さと新しさ、両方味わえるまち

犬山市全体

- ・高齢者と協力できる施設が整うまち
- ・IT技術が活かされているまち
- ・農業生産に支援が充実し、耕作放棄地が少ないまち
- ・工業化せずに、田んぼを保全し、自然環境にやさしいまち
- ・電気100%の自給自足が実現されたまち
- ・防災に強いまち
- ・高齢者が活躍できる元気なまちづくりができていいるまち
- ・一日観光した後に、外で夕ご飯を食べる店が多いまち

自らできること

- ・みんなで掃除をする
- ・自らの力で商店を活性化する
- ・自らまちづくりに活躍する
- ・高齢者の見守り隊を作ったり、畑をしたりする
- ・ボランティア活動を通してみんなでつながり、助け合いができるようなシステムを作る
- ・SNSを活用して市を宣伝する
- ・ボランティアを派遣することなどを通して外国人住民を助け、外国人に優しい社会構築に協力する
- ・外食を多くする
- ・老若関係せず積極的にあいさつをする



③犬山地域の主要課題

地域の主要課題については、拠点形成・土地利用、交通、市街地整備等、都市環境、都市防災の視点別に、地域の現況や住民ニーズを踏まえて整理します。

●拠点形成・土地利用の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で本市の人口の42.5%を占めており、平成30年（2018年）までは増加傾向にありましたが、その後は減少に転じています。 ・市街化区域では、犬山駅や市役所、総合犬山中央病院を中心に都市機能が集積し、一部に工業地を有しているものの、住宅地が主体の土地利用がされています。 ・中心市街地に犬山城下町を有するなど歴史と文化が調和した市街地を形成しています。 ・市街化調整区域の北東部では、テーマパークや社寺、公共施設が立地し、南東部には、まとまった農用地が広がっていますが、一部の幹線道路では、沿道商業施設の立地が進んでいます。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『にぎやか、活気がある、歩いて買い物に行ける、大きなショッピング施設、飲食店の立地、子どもの遊び場があるとよい』といった賑わいの創出や商業機能の充実を求める声が多く聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><都市拠点にふさわしい都市機能等の集積></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市拠点に位置づけた犬山駅周辺の中心市街地については、市民生活を支える市役所などの行政サービスや日常生活に必要な店舗、生活サービスなど高次都市機能が立地しており、また、犬山城や城下町など多くの市民や来訪者が訪れる場として、居住環境との調和に配慮しながら、魅力と回遊性を高めるまちづくりを進めることが必要です。 ・もう一つの都市拠点に位置づけた橋爪・五郎丸地区については、国道41号など広域的な道路交通や総合病院、商業施設が集積する利便性の高い地区であり、これらの利便性を活かした基盤整備等により商業などの都市機能と居住機能の充実を図ることが必要です。 <p><都市拠点周辺における生活利便性の維持・向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山口駅や犬山遊園駅の周辺、木津用水駅に近接する市内地域では、日常生活に必要な都市機能の立地による地域の利便性の維持・充実を図ることが必要です。 <p><幹線道路沿道における商業機能の立地促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道41号や主要地方道（春日井各務原線・一宮犬山線）、県道長洞犬山線、市道名古屋犬山線、市道富岡荒井線の広域交通の利便性を活かした日常生活を豊かにする商業施設の立地を促進することが必要です。 <p><都市的土地利用と農業との調整></p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋爪・五郎丸地区に広がるまとまりのある農用地は、都市的土地利用への転換と調整を図りながら保全を図ることが必要です。

●交通の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内には犬山駅、犬山口駅、犬山遊園駅の3駅が設置されています。 ・バス路線を含めると、犬山駅を中心に地域内は概ね鉄道、バスによる公共交通の徒歩圏域でカバーされています。 ・地域間を連絡する都市計画道路（幹線道路）で未整備区間が多く、そのほとんどが現道の拡幅となります。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査では、『歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい』、『防犯・交通安全への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『明るい広い歩道、駅から城下町への歩道』といった歩行空間の形成を求める声のほか、『バスが使いやすい』など公共交通の利便性向上が求める声も聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><犬山駅等における交通結節機能の維持・強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山駅は、本市で最も利用者数が多く、バスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、通勤・通学をはじめ、城下町への玄関口として、市民・来訪者の移動を支えるとともに、更なる利便性の向上に向けて、犬山口駅や犬山遊園駅との連携を図りながら交通結節機能の強化を図ることが必要です。 ・犬山駅や総合犬山中央病院を交通結節点とし、地域の生活交通を支えるコミュニティバスや路線バスの維持、充実が必要です。 <p><犬山駅や犬山城下町の周辺における多くの人が利用する歩行空間の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山駅や城下町の周辺は市内外から多くの人が訪れるエリアとなっており、地区内の魅力を感じることができるよう歩行空間の形成が必要です。 ・犬山遊園駅、木曾川河畔、犬山城と城下町、犬山駅をつなぐ回遊ルートの実現に向けて、内田地区の河川空間の高質化や遊歩道の整備が必要です。 <p><安心・安全な生活道路の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保が必要です。

●市街地整備等の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地では概ね 40 人/ha 以上の人口密度が維持されており、犬山駅周辺では最も高い傾向にある一方で、都市的低未利用地が多くみられます。 ・犬山城下町では、当時の町割りを残す歴史的市街地を形成しています。 ・空き家が中心市街地に多く、地域全体にも広く分布しています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『空き家が少ない、狭い道路の解消』といった身近な居住環境の改善に対する声がある一方、『古さと新しさが両方味わえる』といった城下町など古い町並みとの調和を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><既存ストックの有効活用による都市機能と居住機能の集積></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能や居住機能の更なる集積と良好な居住環境の形成に向けて、犬山駅周辺や城下町をはじめ地域内に広く分布している空き家・空き地等の都市的低未利用地の活用を促進するとともに、中心市街地にふさわしい交通アクセスに優れた市街地の形成が必要です。 ・犬山城下町地区については、城下町が形成された当時の町割りを残す地区のため、歴史的な町並みを維持しながら、住みやすい市街地を形成することが必要です。 <p><生活道路など基盤整備による居住環境の改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策などの基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進することが必要です。

●都市環境の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域北部には木曾川が流れ、犬山城や城下町を有するなど、豊かな自然や歴史が調和した景観を有しています。 ・内田防災公園や木曾川犬山緑地といった比較的規模の大きな都市公園が分布していますが、市街化区域の一部で誘致圏外が見られます。 ・地域内には、犬山城や東之宮古墳といった歴史文化資源のほか、市役所や図書館、市民交流センターなど多くの公共施設が立地しています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『犬山城を中心とした歴史文化、木曾川』といった地域を代表する資源の活用に関する声が多く聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><代表的なランドマークである犬山城や木曾川の歴史・自然景観の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山城をはじめ城下町の歴史的町並みや名勝木曾川の自然景観を活かし、居住環境に配慮しながら、趣と賑わいが調和した歩きたくなるエリアの形成が必要です。 <p><伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山城や東之宮古墳を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく文化・行事等とともに、周辺の景観や自然環境との調和に配慮しながら歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

●都市防災の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域北部の傾斜地で土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・1000年に1回程度で発生する確率の大雨による木曾川や郷瀬川、新郷瀬川の洪水により木曾川に近い一部地域で5.0～10.0mの浸水が想定され、地域東部の低地において広範囲の浸水が想定されています。また、木曾川沿いの市街地において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）が広範囲に及んでいます。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『災害状況を把握、新郷瀬川の整備』といったソフト・ハード両面での対策を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じることが必要です。

④犬山地域のまちづくり方針

●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<犬山地域のまちづくり目標>

都市の魅力を活かした歴史情緒と活気にあふれる、歩いて楽しいまち

●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

拠点形成・土地利用の方針

主要課題① 都市拠点にふさわしい都市機能等の集積

【都市拠点（犬山地区）】

- 犬山駅や市役所周辺では、多様な都市機能の集積・連携による定住・まちなか居住を誘導します。
- 中心市街地においては、空き地や空き店舗の民間活力による利活用を進め、都市機能等の立地を促進します。
- 犬山城下町や内田地区（木曾川河畔）では、居住環境に配慮したまちの魅力を高める商業、観光交流施設等の立地を促進します。

【都市拠点（橋爪・五郎丸地区）】

- 橋爪・五郎丸地区では、都市拠点・交流エリア基本構想を踏まえた新たな鉄道駅の設置など交通結節機能の強化・充実のあり方を検討します。
- 橋爪・五郎丸地区における既存の都市基盤を活かした医療、商業等の生活サービス施設など都市機能の誘導を図ります。
- 市街化区域に隣接し、鉄道駅など既存ストック等の活用が可能な新市街地検討エリアでは、農地との調整に配慮しながら、新たな住居系市街地の形成（市街化編入）や道の駅など交流施設の設置、消防本部庁舎の建て替えを目指した検討を進めます。

主要課題② 都市拠点周辺における生活利便性の維持・向上

【準地区拠点等】

- 犬山口駅や犬山遊園駅の周辺、木津用水駅に近接する市内地域では、都市拠点に近接する鉄道駅の立地を活かした医療、商業等の身近な生活サービス施設の誘導による利便性の高い居住環境の形成を図ります。

主要課題③ 幹線道路沿道における商業機能の立地促進

- 犬山駅や市役所周辺の幹線道路沿道における商業系土地利用を促進します。
- 市街化調整区域の幹線道路沿道では、営農環境との調和に配慮した沿道商業施設等の立地を許容（商業集積ラインを形成）します。

主要課題④ 都市的土地利用と農業との調整

- まとまった農用地区域では、都市的土地利用との調整により営農環境の適切な保全を図ります。

交通

主要課題① 犬山駅等における交通結節機能の維持・強化

- 犬山駅では、駐輪場や駐停車、滞留スペースなどの交通結節機能を維持・確保し、地域住民や鉄道利用者、隣接するホテル利用者などが使いやすい空間を形成します。
- 犬山口駅においては、駅前の利便性向上を検討します。
- 交通結節点となる犬山駅や総合犬山中央病院では、地域の生活交通を支えるコミュニティバスや路線バスの乗継利便性の維持、向上を図ります。

主要課題② 犬山駅や犬山城下町の周辺における多くの人が利用する歩行空間の形成

- 多くの人が訪れる犬山駅や城下町周辺の歩行空間の確保に向けて、(都)犬山五郎丸線の整備をはじめ、県道浅井犬山線、県道御高犬山線における歩行者安全対策を県など関係機関と連携・協議しながら促進します。
- 内田地区の木曾川河川空間を活かした居心地が良く歩きたくなるウォーカブルな空間形成を目指します。
- 犬山遊園駅前における誘導サインの配置や木曾川河畔の整備など地域全体を見据えた空間形成を検討します。

主要課題③ 安心・安全な生活道路の確保

- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムにおける交通安全対策を推進し、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保を図ります。
- 市街地の居住環境や防災性の向上に向けて、幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善を図ります。

市街地整備等

主要課題① 既存ストックの有効活用による都市機能と居住機能の集積

- 良好な居住環境の形成に向けて、都市的低未利用地や空き家・空き店舗の活用を促進する各種支援制度の運用、周知を図ります。
- 歴史的な町並みが残る城下町地区では、町並みに配慮しながら、狭あい道路の解消や空き地・空き家等の解消、活用を促進します。

主要課題② 生活道路など基盤整備による居住環境の改善

- 地区計画がある区域においては、良好な居住環境の形成と地区施設(道路等)整備を推進します。
- 暫定用途を解消した区域では、計画的な道路整備や雨水浸水対策などの基盤整備により都市的低未利用地の宅地化を促進します。

都市環境

主要課題① 代表的なランドマークである犬山城や木曾川の歴史・自然景観の活用

- 犬山城の眺望や城下町にふさわしい町並み景観の形成に向けて、建築物の高さや屋外広告物の規制などの検討を進めます。
- 木曾川については、各務原市との連携による良好な景観形成を図りつつ、河川沿いや緑道などの自転車・歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークとして利活用を進めます。

主要課題② 伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上

- 犬山城や東之宮古墳を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく地域固有の歴史、伝統を反映した人々の営みとともに、景観など周辺環境が一体となった歴史的風致等の維持・向上を図ります。

主要課題③ 公共施設の維持・整備

- 都市公園の魅力向上と身近な公園における地域が主体となった取り組みを推進します。
- 公共下水道（生活排水）計画区域において、坂下・上坂地区の未整備区域での整備を推進します。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

都市防災

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

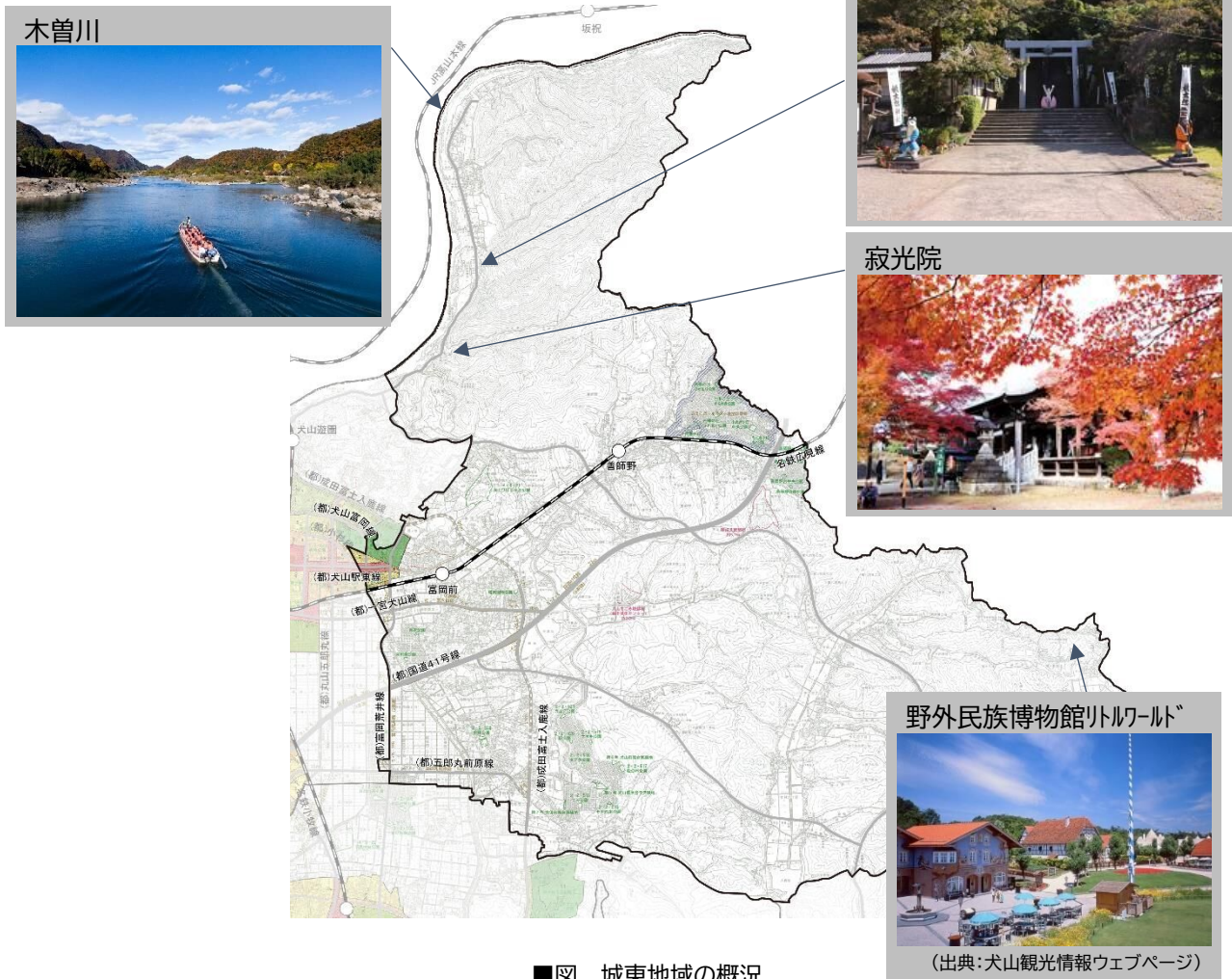
- 災害に強い地域づくりに向けて、狭あい道路の解消や急傾斜地崩壊対策など都市基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。
- 洪水により広範囲で家屋が倒壊・流失が想定される木曾川沿いの地域では、早期の避難行動につながる情報の充実や警戒避難体制の強化等を進めるとともに、被災することを想定した復興事前準備の検討を進めます。

2) 城東地域

①城東地域の現状

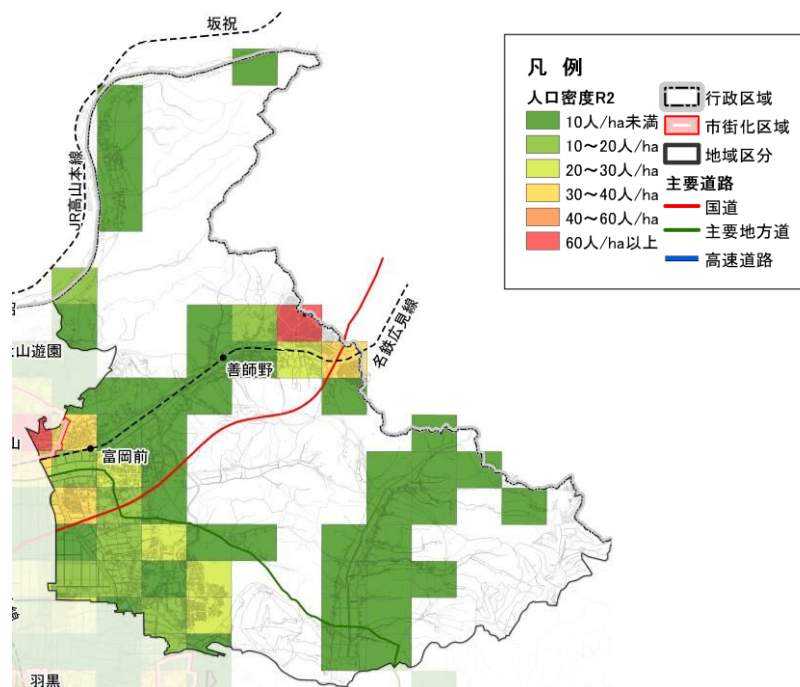
●地域の概況

- ・城東地域は市の北東部に位置し、地域北部は木曾川が流れ、それを挟み各務原市、加茂郡坂祝町と、地域東側は可児市と隣接しています。
- ・富岡前駅と善師野駅の2つの駅が位置し、それらの周辺を含め地域に広く集落地や住宅団地が分布しており、東部や北部の中山間部では日本の原風景ともいえる栗栖・今井地区の集落地があります。
- ・地域北部や東部には、丘陵地に広がる森林や里山、水辺空間など豊かな自然環境を有し、アウトドアや環境学習などの場として親しまれています。
- ・地域中央には国道41号や尾張パークウェイによる広域的な道路交通網を有しており、国道41号沿いの一部では産業集積が進むエリアがあります。
- ・地域内には多くの観光客が訪れる寂光院、桃太郎神社をはじめ、野外民族博物館リトルワールドなど観光資源も多く立地しています。
- ・広域的な道路交通網や地域資源を活かした観光・レクリエーションのほか、自然環境や農にふれあう場、多自然居住といった新たな住まい方の提供など市のポテンシャルを高めることが期待されます。



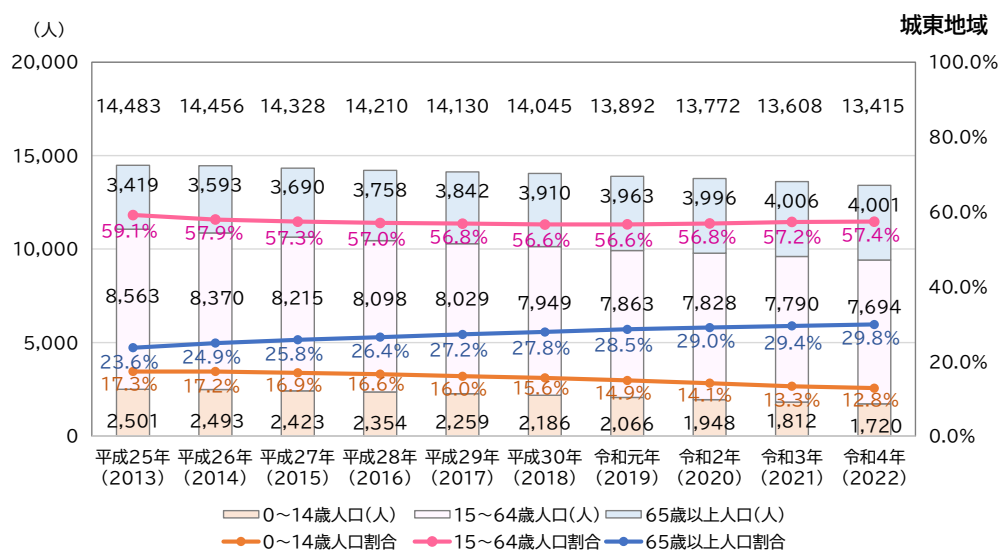
●人口

- ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で13,415人であり、本市の人口の18.5%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年（2013年）以降、減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年（2022年）時点で29.8%と市全体の29.4%よりわずかに高くなっています。
- ・人口密度は、四季の丘、もえぎヶ丘の住宅団地で最も高くなっているほか、富岡前駅周辺や前原の集落地で比較的高くなっています。



■図 城東地域の人口密度(令和2年)

(資料：国勢調査)



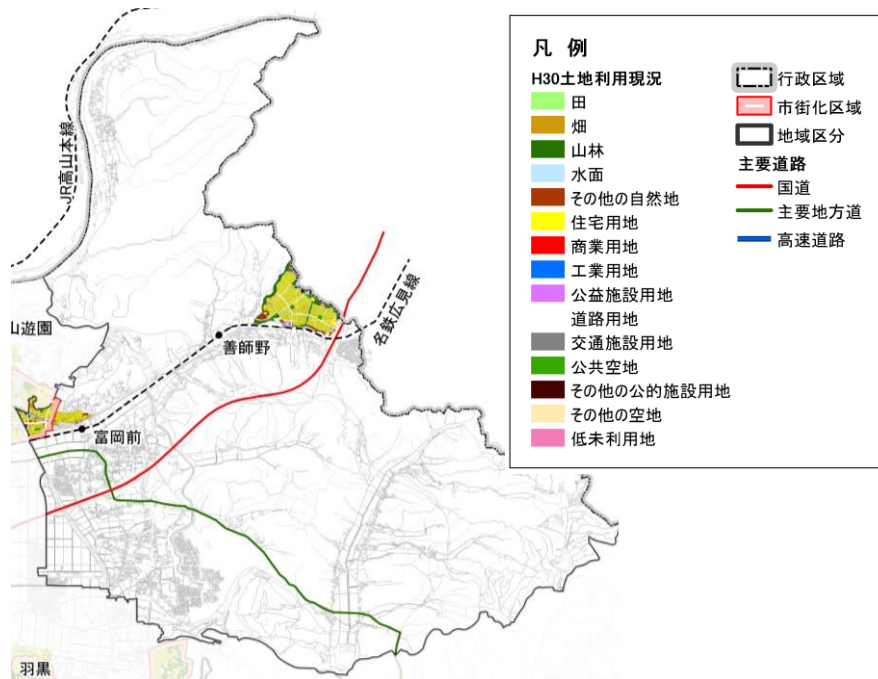
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

■図 城東地域の階層別人口の推移

※各年3月31日(資料：犬山市)

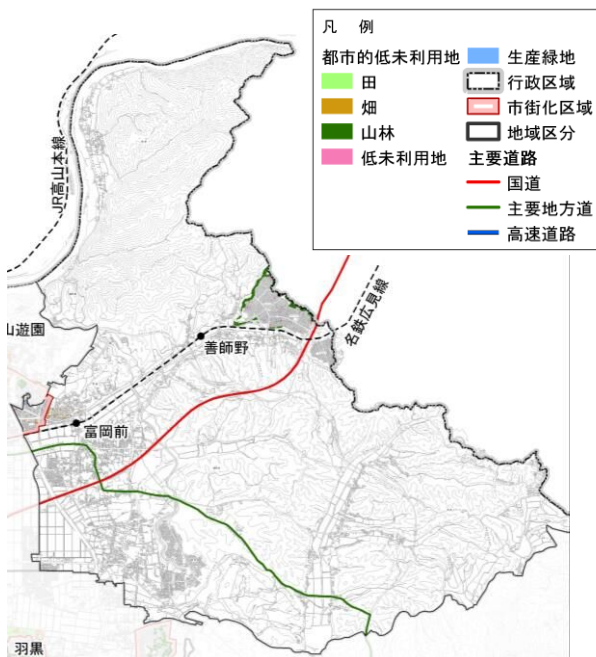
●土地利用

- ・市街化調整区域が本地域の全域を占めており、名鉄沿線や幹線道路の周辺で大きな集落地が形成され、郊外において地区計画による大規模住宅団地が造成されています。また、国道 41 号沿道や地域南部で産業用地も形成されています。
- ・地域北部や東部では、田園・里山集落が広がっています。
- ・郷瀬川沿いや地域南西部に農用地が広がり、東部のほとんどが森林となっています。
- ・空家等が地域南部の集落地に比較的多く分布しています。



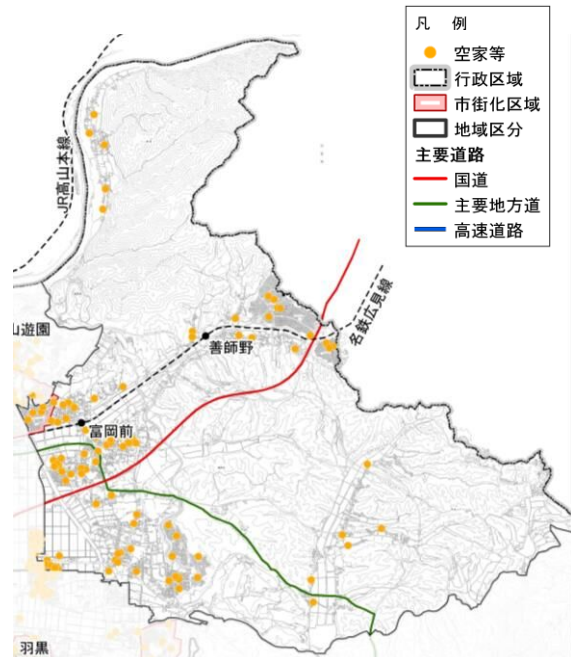
■図 城東地域の土地利用現況（平成 30 年）

（資料：都市計画基礎調査）



■図 城東地域の都市的低未利用地と生産緑地

（資料：都市計画基礎調査）

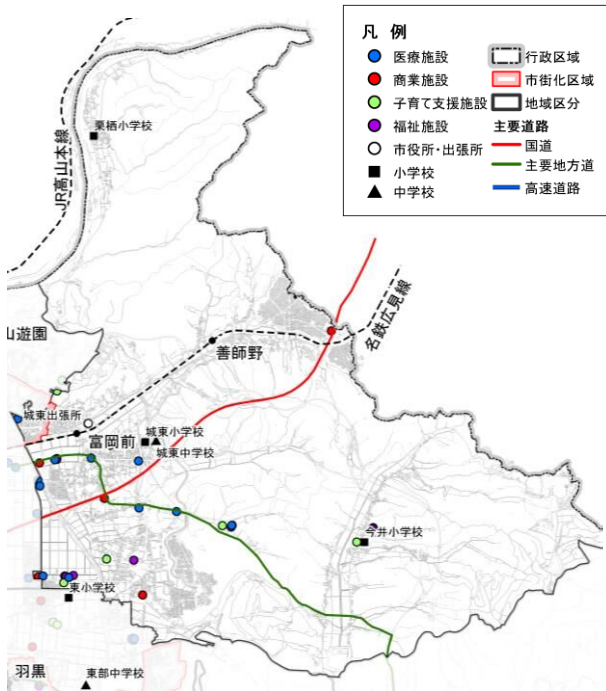


■図 城東地域の空家等の分布

（資料：犬山市）

●施設分布状況

- ・富岡前駅周辺や地域南西部の集落地等周辺において、日常生活に密接に関連する都市機能が分布しています。



■図 城東地域の都市機能分布

●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市)

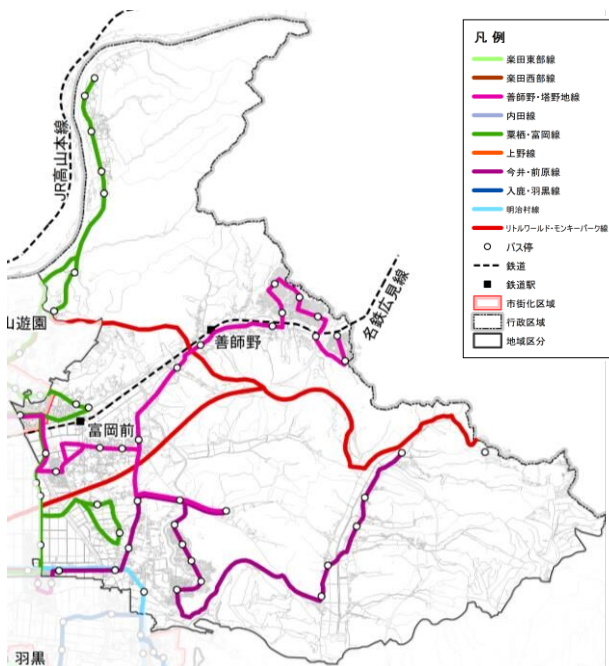
●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市)

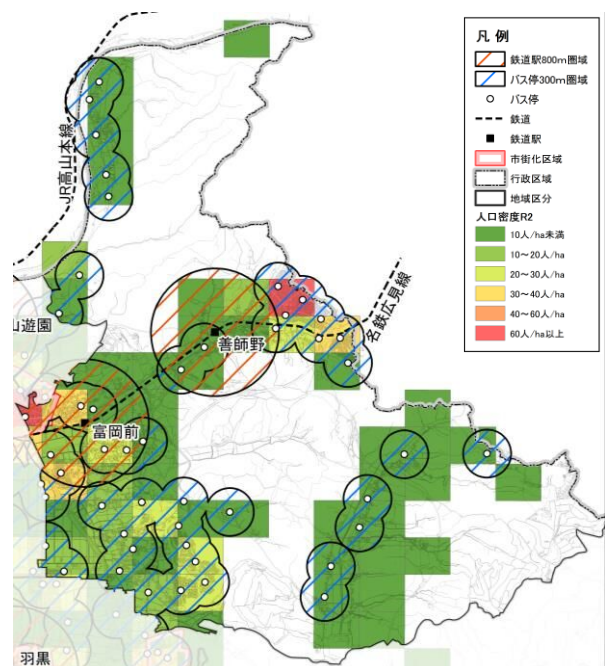
●公共交通

- ・市内鉄道駅は、富岡前駅、善師野駅の2駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、富岡前駅や善師野駅周辺を中心に集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。



■図 城東地域の鉄道駅・バスルート

(資料：国土数値情報)

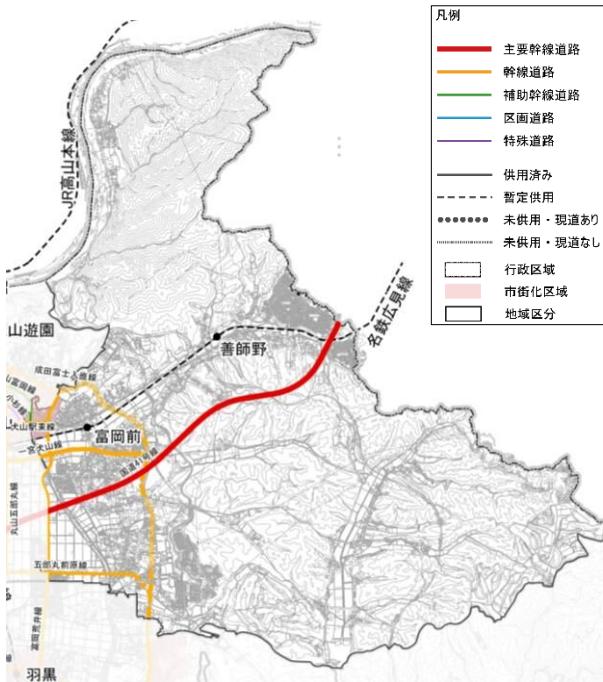


■図 城東地域の鉄道駅とバスの圏域

(資料：国土数値情報)

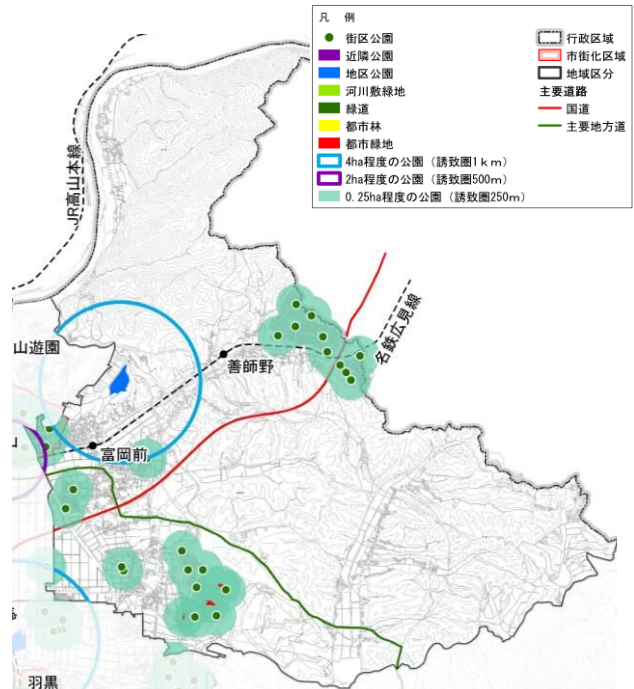
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が残っており、そのほとんどが新たに築造する道路となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内の住宅団地は公園誘致圏に含まれますが、集落地で誘致圏外が多く見られます。



■図 城東地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

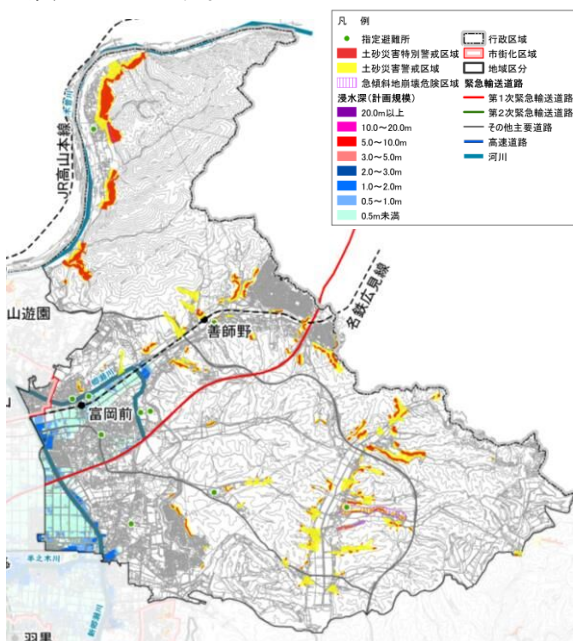


■図 城東地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

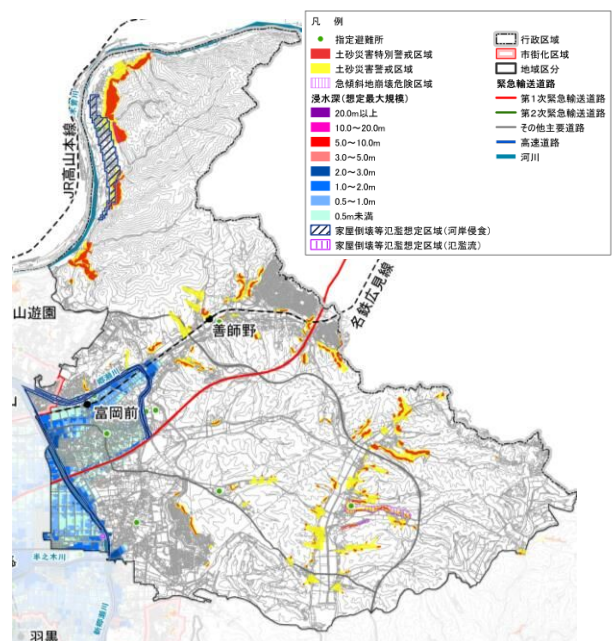
●災害リスク

- ・丘陵部における傾斜地の多くで、土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されています。
- ・計画規模、想定最大規模ともに、地域南西部で浸水が想定されます。ま
- ・木曾川沿いの集落地（栗栖地区）において、河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域が広範囲に及んでいます。



■図 城東地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)



■図 城東地域のハザードマップ（最大想定）

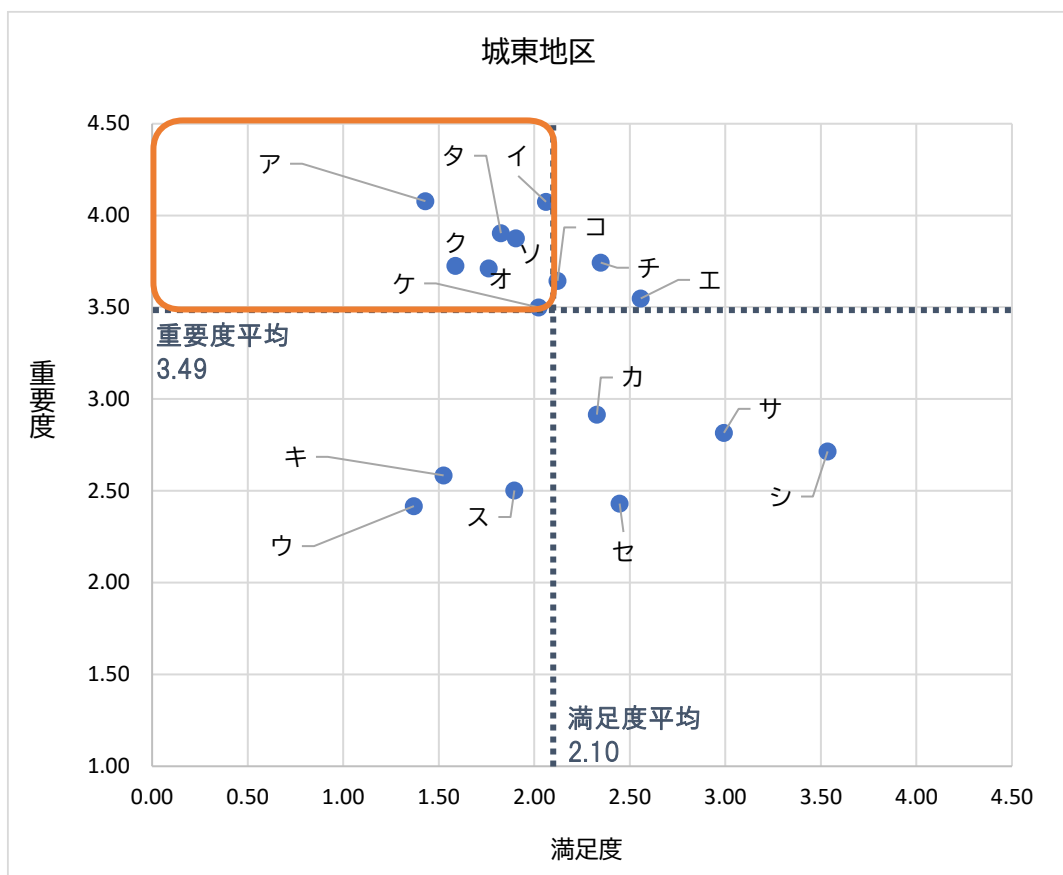
(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)
地域別構想 95

②城東地域の住民ニーズ

●市民アンケート

・城東地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の7つがあげられます。

- ア：日常の買い物に便利な施設が身近にある
- イ：病院など医療・福祉施設が身近にある
- オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
- ク：鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
- ケ：コミュニティバスなど路線バスが充実している
- ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている
- タ：自然災害への対策が十分されている



- ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある
- イ 病院など医療・福祉施設が身近にある
- ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある
- エ 道路が整備され、車で移動しやすい
- オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
- カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある
- キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある
- ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
- ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

- コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
- サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
- シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
- ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
- セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
- ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
- タ 自然災害への対策が十分されている
- チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ

■図 日常の生活環境について（満足度×重要度）城東地区

（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度（2021年度）に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

城東地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

城東地域

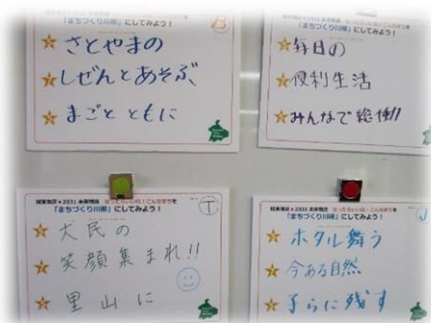
- ・空き農地の有効活用
- ・市街化調整区域においても家を建てられるような規制緩和
- ・農地を宅地化
- ・コミュニティバスを便利にする
- ・犬山駅周辺まですぐ行けるようにする
- ・栗栖と岐阜県をつなげる橋を架ける
- ・商業施設を誘致
- ・歩いて行ける病院がほしい
- ・公園にトイレを整備
- ・池を活用した親水公園をつくる
- ・里山公園があればよい
- ・善師野の自然を多くの人々が体験できるような整備
- ・新郷瀬川の自然を守る
- ・土砂崩れしない道路を整備

犬山市全体

- ・城下町だけでなく、里山も観光地としてにぎわっていただけるまち
- ・休耕地を活かし、里山が保全されたまち
- ・高速道路が延長され、人の流れが確保されたまち
- ・瀬戸市と一宮市にも行けるように東西の道路が整備され、交通の便が良いまち

自らできること

- ・草刈りをする
- ・世代間交流を行い、若い人にこういった活動を伝えていく
- ・善師野の自然を地域外の人に発信し、地域の魅力を伝承する場を作る
- ・地域の活動に参加し、皆でのコミュニケーションを行う
- ・地域の人々が集まって話し合う
- ・休耕地を活かしてみんなで農業をやる



③城東地域の主要課題

地域の主要課題については、拠点形成・土地利用、交通、市街地整備等、都市環境、都市防災の視点別に、地域の現況や住民ニーズを踏まえて整理します。

●拠点形成・土地利用の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で本市の人口の18.5%を占めており、平成25年（2013年）以降、減少傾向にあります。 ・地域全域が市街化調整区域であり、富岡前駅や善師野駅の周辺、前原地区にまとまった集落地や住宅団地が立地し、一部で産業用地が見られます。 ・地域北部や東部には、木曾川や丘陵地に広がる森林や里山が広がり、河川沿いに農用地が分布しています。 ・地域中央の国道41号沿いでは産業集積が進むエリアがあります。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『商業施設や病院等の施設の立地、農地の有効活用、市街化調整区域の土地の有効活用』といった生活利便性の充実や土地の有効活用を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><地域の生活利便性の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・準地区拠点に位置づけた富岡前駅、善師野駅周辺や前原の集落地等は、人口密度を維持することで日常生活に必要な機能の立地を支えるとともに、公共交通の利便性向上を図ることが必要です。 ・コミュニティ拠点に位置づけた栗栖小学校と今井小学校の周辺は、日常生活に必要な機能や市街地との生活交通の確保を図り、二地域居住や多自然居住など新たな住まい方の受け皿になるなど、地域コミュニティの維持・充実を図ることが必要です。 <p><新たな産業用地の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・塔野地地区の国道41号沿線とその周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘案しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。 <p><東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

●交通の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内には富岡前駅と善師野駅の2つの駅が設置されています。 ・路線バスやコミュニティバス路線を含めると、富岡前駅や善師野駅周辺を中心に集落地や住宅団地のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。 ・他地域から中心市街地に連絡する都市計画道路（幹線道路）で未整備区間が残っており、そのほとんどが新たに築造する道路となります。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい』や『鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい』、『コミュニティバスなど路線バスが充実している』、『防犯・交通安全への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『コミュニティバスを便利に、犬山駅周辺まですぐ行けるように』といった公共交通の利便性向上を求める声が多く、『土砂崩れしない道路の整備』といった安全な道路を求める声も聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><国道41号を中心とした交通体系の構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道41号に接続する(都)成田富士入鹿線は、ほとんどが未整備区間となっており、引き続き都市計画道路等の整備を進めることで、国道41号を中心とした広域的な交通体系を構築し、移動利便性を高めることが必要です。 <p><集落地や住宅団地における生活交通の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡前駅や善師野駅は、コミュニティバスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学などを引き続き支えることが必要です。 ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスや路線バス、デマンド交通など地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。 <p><安心・安全な生活道路の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

●市街地整備等の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅団地では概ね 40 人/ha 以上の人口密度が維持されており、四季の丘、もえぎヶ丘の住宅団地で人口密度が高い一方、集落地では全体的に低い傾向にあります。 ・空き家が地域南部の集落地に比較的多く分布しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の市民アンケートやタウンミーティングにおいて把握できるニーズはありませんでした。
主要課題	<p><市街化調整区域の集落地等における居住環境の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落地や住宅団地における基盤施設の維持・改善や空き家の発生を抑制するなど居住環境の維持・向上を図ることが必要です。

●都市環境の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域北部や東部には、丘陵地に広がる森林や里山、水辺空間など豊かな自然環境を有しています。 ・地域内の住宅団地は公園誘致圏に含まれますが、集落地で誘致圏外が多く見られます。 ・地域内には寂光院や桃太郎神社、野外民族博物館リトルワールドなどの観光資源のほか、市民健康館や里山学センター、野外活動センターなど自然を活かした公共公益施設が多く立地しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『自然体験ができる、自然を守る』といった自然環境の保全や活用を求める声が多く聞かれました。
主要課題	<p><里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山や木曾川、中島池といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、自然体験やアウトドア、憩いの場の創出など自然に親しめる空間として活用することが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

●都市防災の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丘陵部における傾斜地の多くで、土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・郷瀬川、新郷瀬川の洪水により、地域南西部の低地において3.0m未満の浸水が想定されています。 ・木曾川沿いの集落地（栗栖地区）において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が広範囲に及んでいます。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでは、『土砂崩れしない道路を整備』といった土砂災害への対策を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

④城東地域のまちづくり方針

●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<城東地域のまちづくり目標>

豊かな自然環境を遊びや学びに活かし心豊かに暮らせるまち

●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

拠点形成・土地利用の方針

主要課題① 地域の生活利便性の維持・充実

【準地区拠点】

- 富岡前駅や善師野駅の周辺、路線バス沿線のまとまった集落地等では、居住環境の維持・向上を図り、医療、商業等の身近な生活サービス施設など都市機能の立地を促します。
- 都市基盤や既存ストックが整った集落地等においては、日常生活を送る上で必要な機能の確保に向けて、条例や地区計画等の活用による住宅の立地緩和（許容）を検討します。

【コミュニティ拠点】

- コミュニティや日常生活を送る上で必要な機能の維持・確保に向けて、多自然居住や二地域居住などゆとりある新たなライフスタイルの受け皿として犬山版優良田園住宅制度を活用した住宅の立地緩和を進めます。

主要課題② 新たな産業用地の形成

- 産業基盤の維持・強化に向けて、産業集積誘導エリアにおいて、周辺の居住環境や営農環境との調和に配慮した新たな産業用地を形成します。
- 既存の産業用地については、操業環境の維持を図ります。

主要課題③ 東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用

- 東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地は、都市的な土地利用との調整に留意しつつ、無秩序な土地利用を抑制しながら保全、活用を図ります。
- 今井開拓パイロット地区では、農地や自然環境の保全に配慮した有効活用を進めます。

交通

主要課題① 国道 41 号を中心とした交通体系の構築

- 国道 41 号と接続する広域的な交通体系の充実に向けて、(都) 成田富士入鹿線の整備を関係機関と連携・協議しながら促進します。

主要課題② 集落地や住宅団地における生活交通の維持・充実

- 富岡前駅、善師野駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持、充実に向けて、端末交通手段を踏まえた利便性の確保を図ります。
- 日常の生活交通となる拠点間のコミュニティバスや路線バスを維持しつつ、都市機能の確保が困難な箇所においては、移動ニーズに対応した公共交通体系の確保を図ります。

主要課題③ 安心・安全な生活道路の確保

- 栗栖地区と市街地をつなぐ唯一の路線である県道栗栖犬山線の安全性の向上に向けて、歩道設置等の道路整備を関係機関と連携・協議しながら促進します。
- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムにおける交通安全対策を推進し、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保を図ります。
- 居住環境や防災性の向上に向けて、幅員 4 メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善を図ります。

市街地整備等

主要課題① 市街化調整区域の住宅団地や集落地の居住環境の維持・充実

- 地区計画等がある区域においては、地域づくりのルールにより良好な居住環境の形成を推進します。
- 良好な居住環境の形成に向けて、空き家の適切な管理や活用を促進する各種支援制度の運用、周知を図ります。

都市環境

主要課題① 里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用

- 木曾川や新郷瀬川、中島池周辺のビオトープや遊歩道などの水辺空間、里山の自然歩道を活かした水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 里山や水辺空間の保全活動やそれらを利用した観光、アウトドア、市民農園といった農とのふれあいなど、地域の豊かな自然を交流資源として活用します。

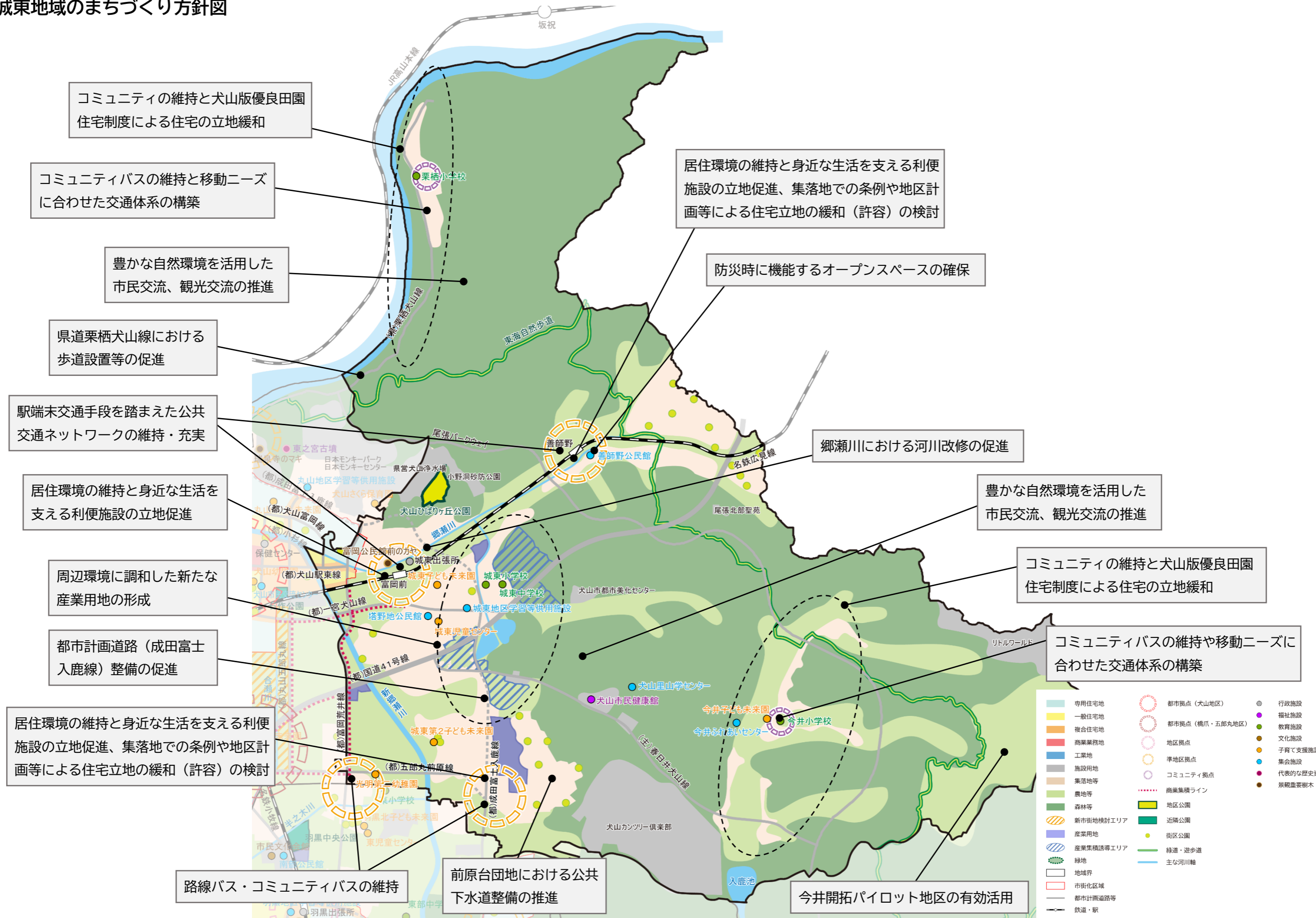
主要課題② 公共施設の維持・整備

- 都市公園の魅力向上と身近な公園における地域が主体となった取り組みを推進します。
- 公共下水道（生活排水）計画区域のうち、前原台団地での整備を推進します。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、河川改修や避難スペースの確保など都市基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。
- 洪水により広範囲で家屋が倒壊・流失が想定される木曽川沿いの地域では、早期の避難行動につながる情報の充実や警戒避難体制の強化等を進めるとともに、被災することを想定した復興事前準備の検討を進めます。

●城東地域のまちづくり方針図



3) 羽黒地域

①羽黒地域の現状

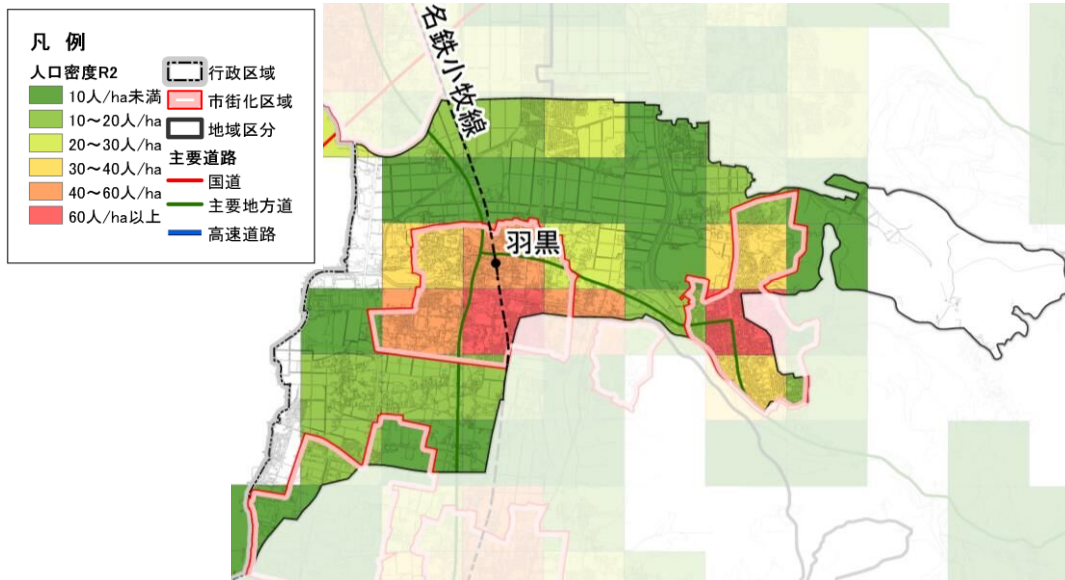
●地域の概況

- ・羽黒地域は市の中央部に位置し、地域西部は丹羽郡大口町と隣接しています。
- ・羽黒駅が位置し、その周辺や地域東部に市街地を形成しており、市街地の周辺を集落地や農地が広く分布し、その中を巡るように3つの河川が流れています。
- ・地域西部は国道41号とのアクセス性も良いため、産業集積が進むエリアを有しています。
- ・地域北部にはスポーツ活動を支える多目的スポーツ広場や体育館を有する羽黒中央公園と、文化活動を支える市民文化会館等があり、その付近にはすすみふれあい広場や磨墨塚史跡公園、羽黒城址をはじめとする市民の憩いの場が立地しています。
- ・橋爪・五郎丸方面や羽黒駅からのアクセス利便性の高さを活かし、河川沿いの歩行者ネットワークや、多くの市民が利用するスポーツ・文化施設の利活用を促進し、健康的で安らぎと潤いある暮らしを支えることが期待されます。



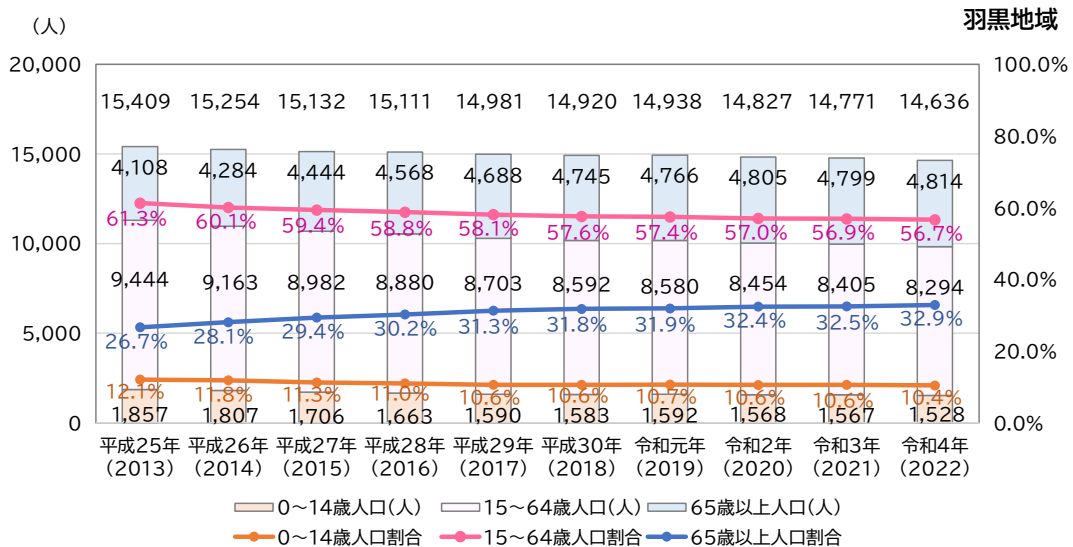
●人口

- ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で14,636人であり、本市の人口の20.1%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年（2013年）以降、減少傾向にあります。
- ・高齢化率は、令和4年（2022年）時点で32.9%と市全体の29.4%より高くなっています。
- ・人口密度は、市街化区域における羽黒駅周辺の市街地及び東部の住宅団地で高くなっています。



■図 羽黒地域の人口密度（令和2年）

（資料：国勢調査）



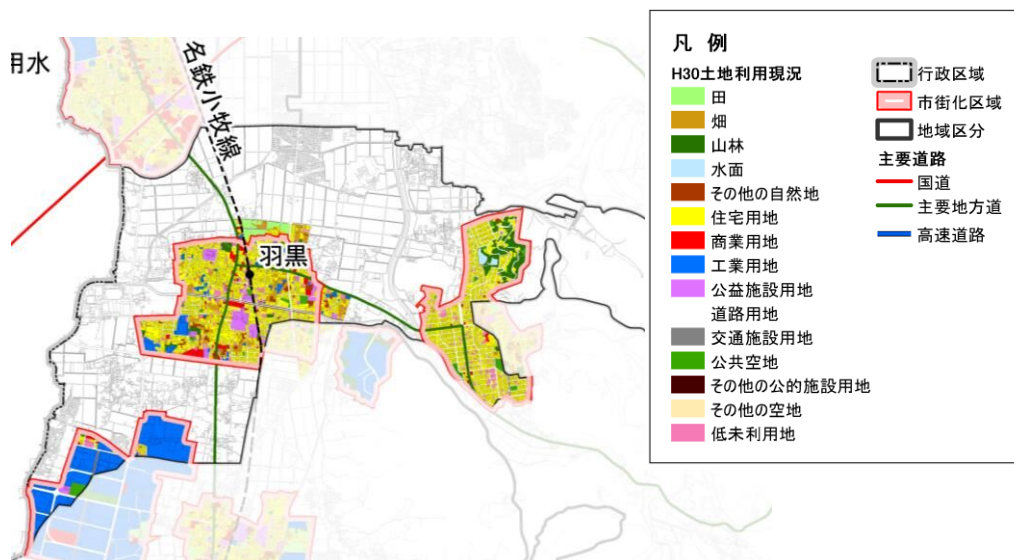
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

■図 羽黒地域の階層別人口の推移

※各年3月31日（資料：犬山市）

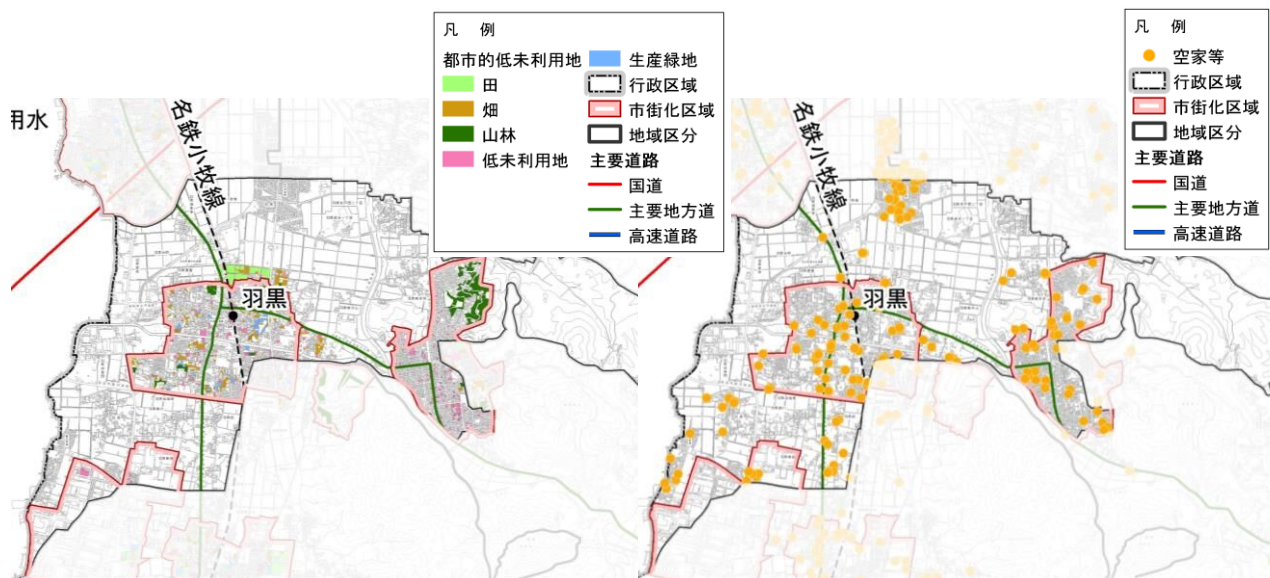
●土地利用

- ・市街化区域は、羽黒駅周辺で住宅地としての土地利用が主体となっており、地域東部には区画整理による大規模住宅団地が造成されています。また、工業地は、地域南西部にまとまって分布しています。
- ・都市的低未利用地が市街化区域全体に分布しており、生産緑地は羽黒駅周辺に多くみられます。
- ・市街化調整区域は、集落地が点在し、その周辺に農用地が広がっています。また、地域東部は森林となっています。
- ・空家等が市街化区域内に広く分布し、市街化調整区域の住宅団地にも多く分布しています。



■図 羽黒地域の土地利用現況（平成 30 年）

（資料：都市計画基礎調査）



■図 羽黒地域の都市的低未利用地と生産緑地

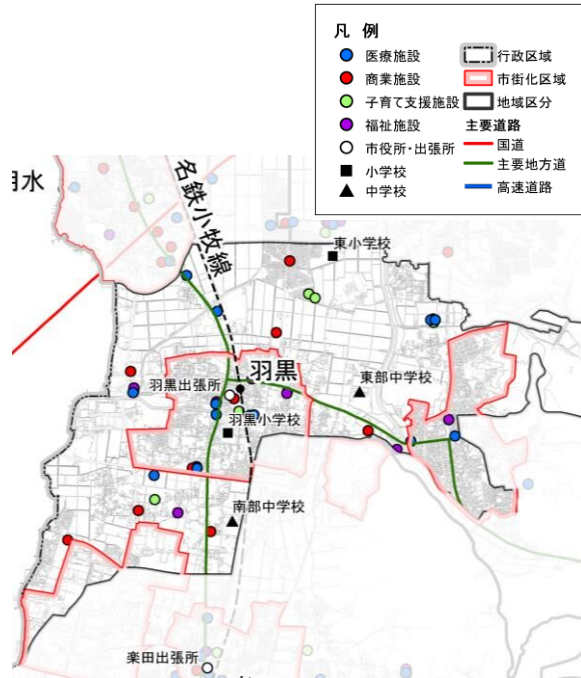
（資料：都市計画基礎調査）

■図 羽黒地域の空家等の分布

（資料：犬山市）

●施設分布状況

- ・羽黒駅周辺に日常生活に密接に関連する都市機能が分布し、東部の住宅団地や集落地において医療・福祉施設等の分布が見られます。



■図 羽黒地域の都市機能分布

●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市)

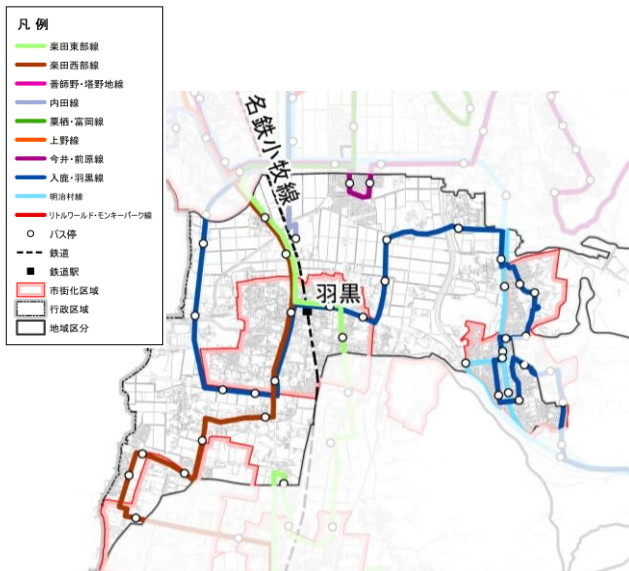
●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市)

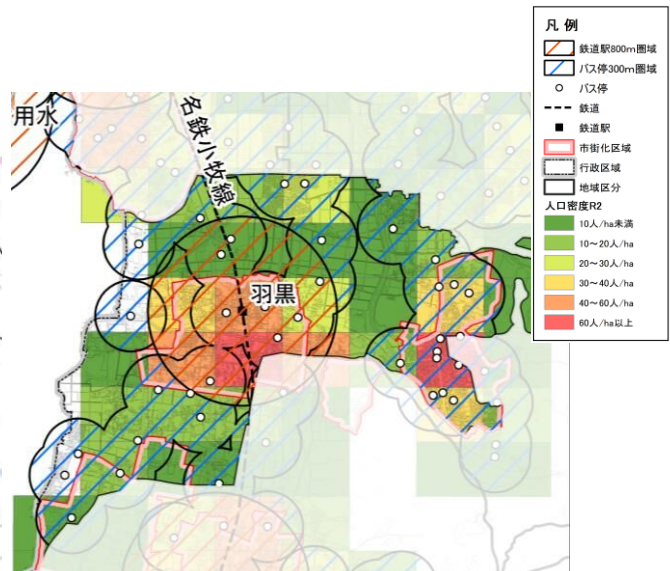
●公共交通

- ・鉄道駅は、羽黒駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、羽黒駅周辺を中心に集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。



■図 羽黒地域の鉄道駅・バスルート

(資料：国土数値情報)



■図 羽黒地域の鉄道駅とバスの圏域

(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、一部の区間では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、市街化区域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部や集落地で誘致圏外が見られます。



■図 羽黒地域の道路整備状況

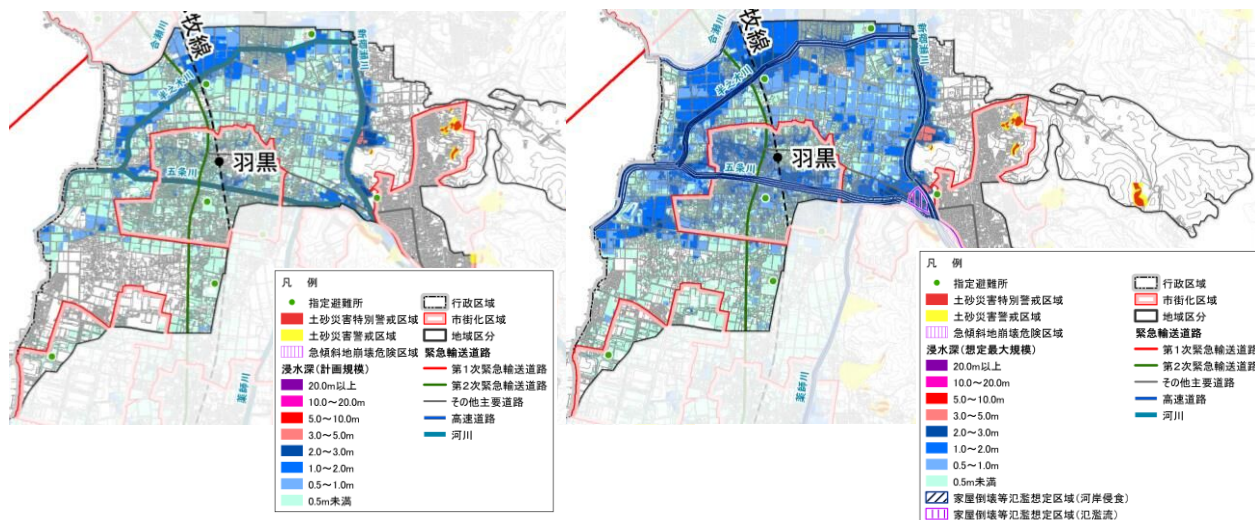
(資料：犬山市)

■図 羽黒地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、羽黒駅周辺の市街地やその周辺の農地で浸水が想定されます。



■図 羽黒地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

■図 羽黒地域のハザードマップ（想定最大規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

②羽黒地域の住民ニーズ

●市民アンケート

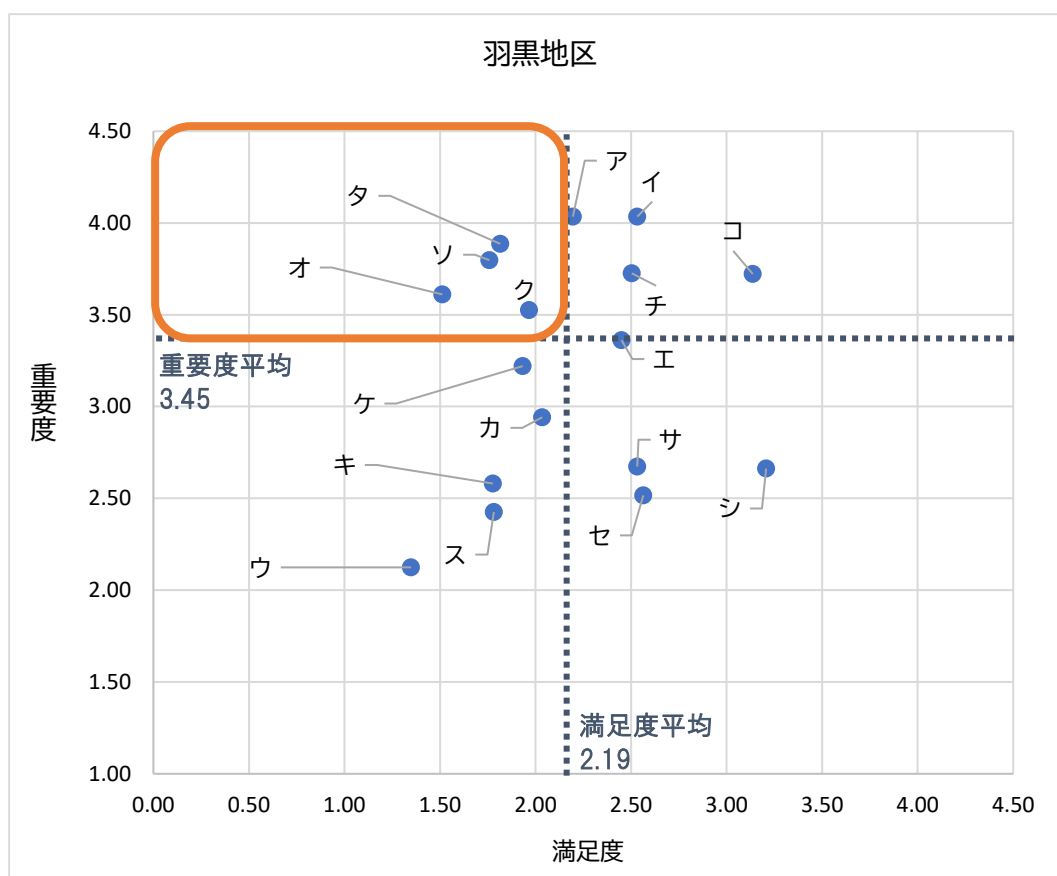
・羽黒地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の4つがあげられます。

オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ク：鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている



ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある
 イ 病院など医療・福祉施設が身近にある
 ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある
 エ 道路が整備され、車で移動しやすい
 オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
 カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある
 キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある
 ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
 ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
 サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
 シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
 ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
 セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
 ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
 タ 自然災害への対策が十分されている
 チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ

■図 日常の生活環境について（満足度×重要度）羽黒地区

（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度（2021年度）に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

羽黒地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

羽黒地域

- ・ 駅と駅周辺を整備
- ・ 狭あい道路を解消
- ・ 羽黒地区の東西における市街地開発
- ・ 空き家が少ないまち
- ・ 耕作放棄地を活用
- ・ 歩行者、自転車が安全に使用できる道路整備
- ・ 循環バスを便利にする
- ・ デマンドバスが利用できるといい
- ・ 複合型モールがほしい
- ・ 街並みが明るく商店が多くできるといい
- ・ 子どもの遊び場を増やす
- ・ 五条川をきれいにする
- ・ 子どもの安全を守るまち
- ・ 近くに災害時の集合場所がほしい
- ・ 高齢者にとって住みやすいまち

犬山市全体

- ・ 商業施設があり、人々が長く住み続けるまち
- ・ シルバー人材が活躍できるまち
- ・ 観光地として人気なまち
- ・ 元気な高齢者と子どもの交流ができるように、自然を活用したまち
- ・ 高齢者が住みやすいまち
- ・ コミュニティバスが便利なまち
- ・ 道路がきちんと整備されたまち
- ・ 子育てしやすいまち

自らできること

- ・ 農業の手伝い、近隣の見守りなどのボランティア活動を行う
- ・ 市内での従業及び地産地消などに貢献する
- ・ よく散歩し、自らの健康状態を向上させる
- ・ 近所とのかかわり、見守りをする
- ・ 自己中心を改め、人と協力し合うようにする
- ・ 人とのつながりを大事に地域でよく会える



③羽黒地域の主要課題

地域の主要課題については、拠点形成・土地利用、交通、市街地整備等、都市環境、都市防災の視点別に、地域の現況や住民ニーズを踏まえて整理します。

●拠点形成・土地利用の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で本市の人口の20.1%を占めており、平成25年（2013年）以降、減少傾向にあります。 ・市街化区域は、羽黒駅周辺や長者町団地等で住宅地主体の土地利用がされており、地域南西部にまとまった工業地・産業用地を有しています。 ・市街化調整区域には、集落地等が点在し、その周辺に農用地が広がり、地域東部は森林となっています。 ・羽黒駅を中心に日常生活に必要な都市機能が分布しており、集落地や住宅団地においても一定の都市機能が分布しています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『羽黒地区の東西における市街地開発、耕作放棄地を活用、複合型モールがほしい』といった有効な土地利用を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区拠点に位置づけた羽黒駅周辺では、駅周辺の市街地だけでなく、東部の住宅団地や周辺の集落地、池野地域の日常生活を支える都市機能の立地を促進するとともに、道路や公共交通ネットワークの強化により利便性の高い市街地の形成を図ることが必要です。 <p><住宅団地や集落地の利便性の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・準地区拠点に位置づけた長者町団地や日の出住宅等は、人口密度を維持することで日常生活に必要な機能の立地を支えるとともに、バス路線の公共交通ネットワークの維持・強化による地域の利便性の確保・充実を図ることが必要です。 <p><新たな産業用地の形成と既存工業地等の維持></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山公園小牧線沿道にある既存の工業地周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘察しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。また、既存の工業地等においては、地域活力の低下や周辺環境の悪化を招かぬよう操業環境を維持することが必要です。 <p><東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

●交通の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内には羽黒駅が設置されており、バス路線（停留所）の設置状況を含めると、羽黒駅周辺を中心に集落地や住宅団地が鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。 ・他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、一部の区間では現道のない未整備区間が残っています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい』、『防犯・交通安全への対策が十分されている』、『鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『歩行者、自転車が安全に使用できる道路』を求める声のほか、『循環バスを便利に、デマンドバスが利用できる』といった公共交通の利便性向上を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><羽黒駅を中心とした交通体系の構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽黒駅は、コミュニティバスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学などを引き続き支えることが必要です。また、羽黒駅へのアクセス性を向上する基盤整備が必要です。 ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスや路線バスなど地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。 <p><地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北の幹線道路である（都）富岡荒井線が開通し、地域内の交通形態も変化することが予想されるため、地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築を進め、都市基盤が未整備な市街地内の自動車交通を抑制するとともに、安心・安全な歩行環境の形成が必要です。 <p><安心・安全な生活道路の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保が必要です。

●市街地整備等の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地では概ね 40 人/ha 以上の人口密度が維持されており、羽黒駅周辺及び長者町団地等で人口密度が高い傾向にある一方、都市的低未利用が広く分布しています。 ・空家等が市街化区域内に広く分布し、市街化調整区域の住宅団地にも多く分布しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『空き家が少ないまち、狭あい道路の解消』といった居住環境の改善を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><既存ストックを活かした居住機能の集積></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の市街地や市街化調整区域の住宅団地における人口密度は高い傾向にある一方、地域の人口は減少傾向にあり、居住機能の集積と居住環境の改善に向けて、空き家や空き地等の都市的低未利用を有効に活用することが必要です。 <p><生活道路など基盤整備による居住環境の改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策など基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進することが必要です。

●都市環境の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の周囲に集落地や農地が広く分布し、その中を巡るように五条川をはじめ、3つの河川が流れています。 ・市街化区域のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、一部の区域や集落地で誘致圏外が見られます。 ・地域北部には、羽黒中央公園や市民文化会館、するすみふれあい広場など市民の憩いの場となる公共公益施設が立地しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『子どもの遊び場を増やす、五条川をきれいにする』といった憩いの場や自然環境の整備を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山や五条川、新郷瀬川といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、ウォーキングなど健康づくりや憩いの場として自然に親しめる空間として活用することが必要です。 <p><羽黒中央公園等の利活用促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動を支える羽黒中央公園と市民文化会館については、利便性の維持・向上を図り、より一層市民に利用される施設を目指すことが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

●都市防災の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域東部の傾斜地で土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・新郷瀬川等の洪水により、羽黒駅周辺の市街地やその周辺の農地で3.0m未満の浸水が想定されます。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『災害時の集合場所』を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

④羽黒地域のまちづくり方針

●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<羽黒地域のまちづくり目標>

まちなかの緑と水辺に親しみ健康的で安らぎと潤いのあるまち

●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

拠点形成・土地利用の方針
<p>主要課題① 地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成</p> <p>【地区拠点】</p> <ul style="list-style-type: none">○羽黒駅周辺では、居住機能の集約立地と医療、商業等の身近な生活サービス施設など都市機能の誘導を図ります。○羽黒駅周辺の幹線道路においては、居住環境との調和に配慮した沿道商業施設等の立地を誘導します。
<p>主要課題② 住宅団地や集落地における居住環境の維持・充実</p> <ul style="list-style-type: none">○長者町団地や日の出住宅の周辺では、現在の市街地形態による良好な居住環境を維持しつつ、医療、商業等の身近な生活サービス施設など都市機能の立地を促します。
<p>主要課題③ 新たな産業用地の形成と既存工業地等の維持</p> <ul style="list-style-type: none">○産業基盤の維持・強化に向け、産業集積誘導エリアにおいて、周辺の居住環境や営農環境との調和に配慮した新たな産業用地を形成します。○既存の工業地等については、操業環境の維持を図ります。
<p>主要課題④ 東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用</p> <ul style="list-style-type: none">○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地は、都市的な土地利用との調整に留意しつつ、無秩序な土地利用を抑制しながら保全、活用を図ります。
交通
<p>主要課題① 羽黒駅を中心とした交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none">○羽黒駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの形成に向けて、羽黒駅前広場の利便性向上を図ります。○日常の生活交通となる拠点間のコミュニティバスや路線バスの維持・確保を図ります。
<p>主要課題② 地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築</p> <ul style="list-style-type: none">○地域内における東西の道路交通の円滑化に向けて、(都) 犬山富士線と(都) 蝉屋長塚線の整備を関係機関と連携・協議しながら促進(推進)します。

主要課題③ 安心・安全な生活道路の確保

- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムにおける交通安全対策を推進し、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保を図ります。
- 市街地の居住環境や防災性の向上に向けて、幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善を図ります。

市街地整備等

主要課題① 既存ストックを活かした居住機能の集積

- 良好な居住環境の形成に向けて、都市的低未利用地や空き家・空き店舗の活用を促進する各種支援制度の運用、周知を図ります。

主要課題① 生活道路など基盤整備による居住環境の改善

- 古くから形成されてきた市街地などにおいては、建て替えの機会を捉えた狭あい道路の解消等により居住環境の改善や都市的低未利用地の宅地を促進します。

都市環境

主要課題① 里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用

- 五条川や新郷瀬川など、河川沿いの遊歩道、自然歩道といった水と緑のネットワークの有効活用を図ります。

主要課題② 羽黒中央公園等の利活用促進

- 市民のスポーツ・文化活動を支える羽黒中央公園と市民文化会館については、市民利用の促進、施設の活性化に繋がる適切な管理、運用を図ります。

主要課題③ 公共施設の維持・整備

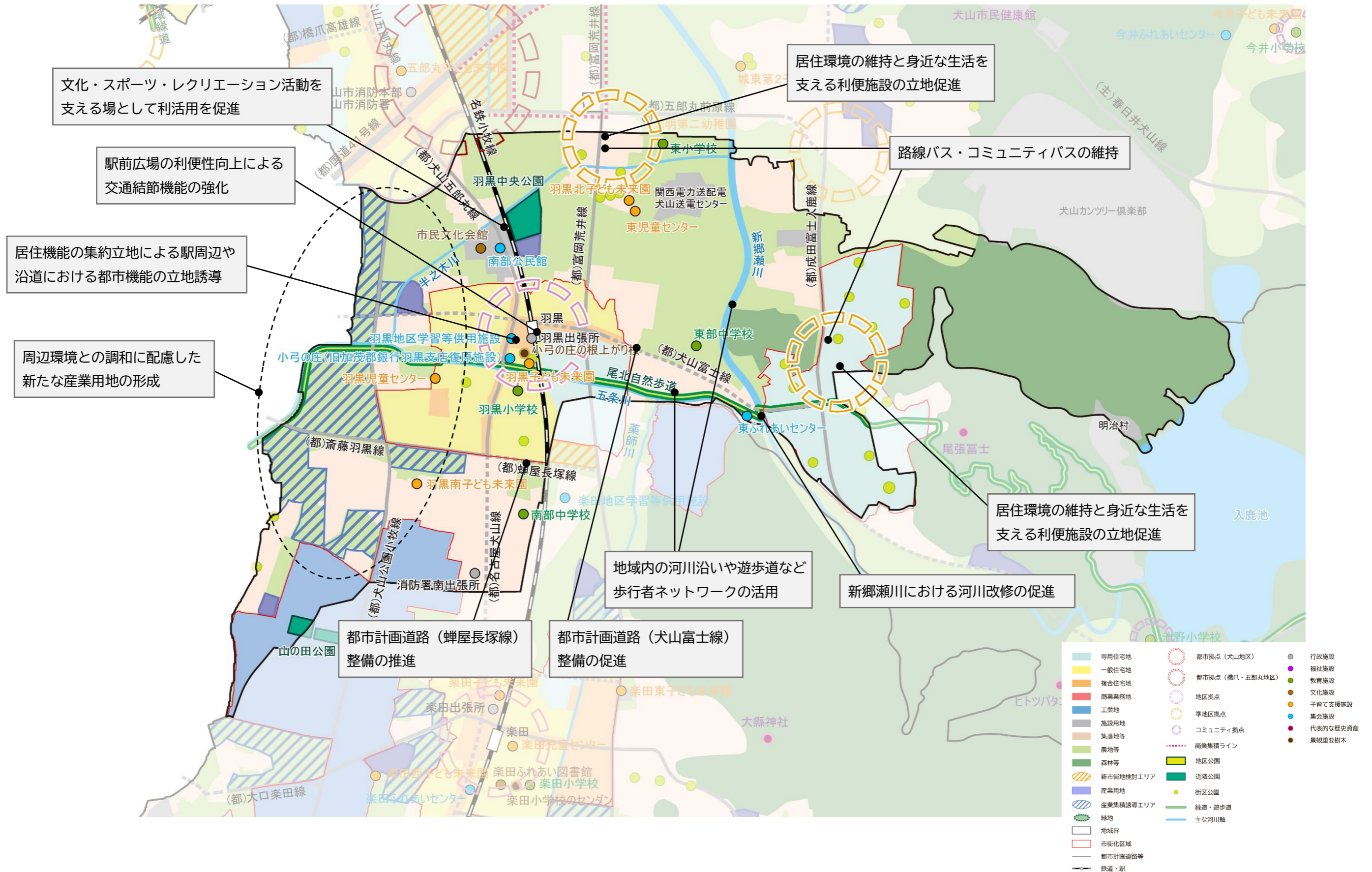
- 都市公園の魅力向上と身近な公園における地域が主体となった取り組みを推進します。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

都市防災

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、狭あい道路の解消や河川改修など都市基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。

●羽黒地域のまちづくり方針図



4) 楽田地域

①楽田地域の現状

●地域の概況

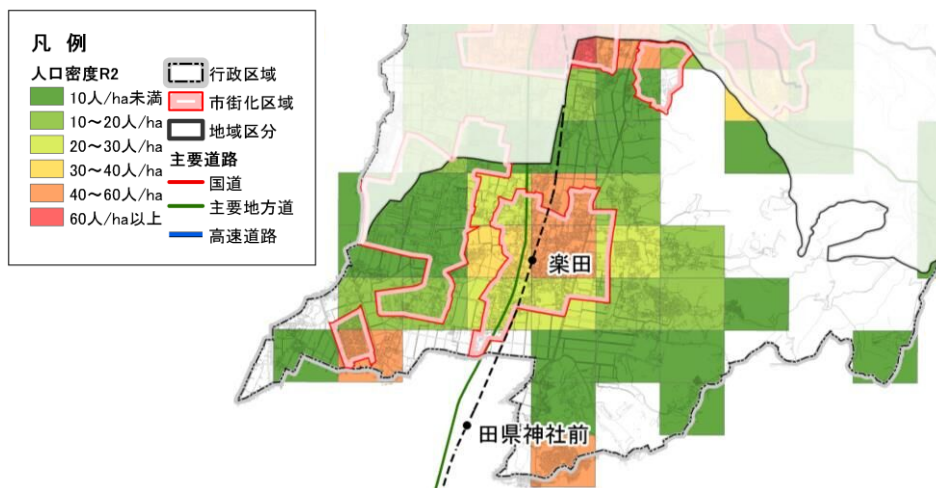
- ・楽田地域は市の南部に位置し、地域南部は小牧市、地域西部は丹羽郡大口町と隣接しています。
- ・楽田駅が位置し、その周辺や地域南西部に住宅地が広がり、市街化区域東部に工業地が立地しており、その周辺に集落地や住宅団地が分布しています。
- ・地域西部と北部に工業団地が形成されており、産業基盤の中心となっています。
- ・地域南部には名古屋経済大学などの教育施設が立地しています。
- ・地域内には青塚古墳や大縣神社をはじめとする歴史文化資源や大縣神社の周辺やその東部にはハイキングなどで親しまれる里山などがあります。
- ・楽田駅によるアクセス利便性や魅力ある地域資源、小牧市との近接を活かした定住促進や産業基盤の維持・強化を図り、市全体の地域活力を支えることが期待されます。



■図 楽田地域の概況

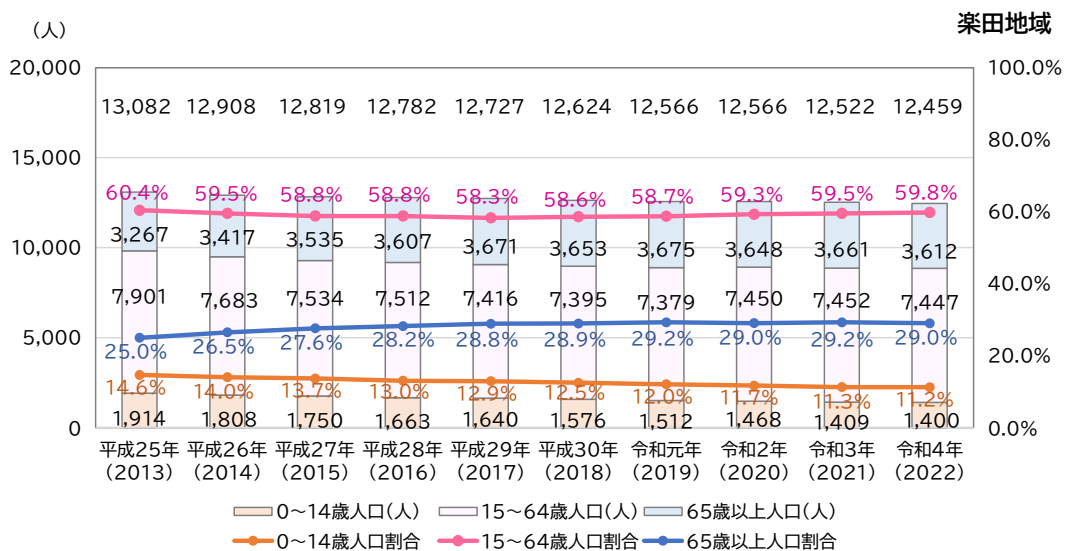
●人口

- ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で12,459人であり、本市の人口の17.2%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年（2013年）以降、減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年（2022年）時点で29.0%と市全体の29.4%よりわずかに低くなっています。
- ・人口密度は、市街化区域における楽田駅周辺の市街地及び南西部の住宅団地等で高くなっています。



■図 楽田地域の人口密度（令和2年）

（資料：国勢調査）



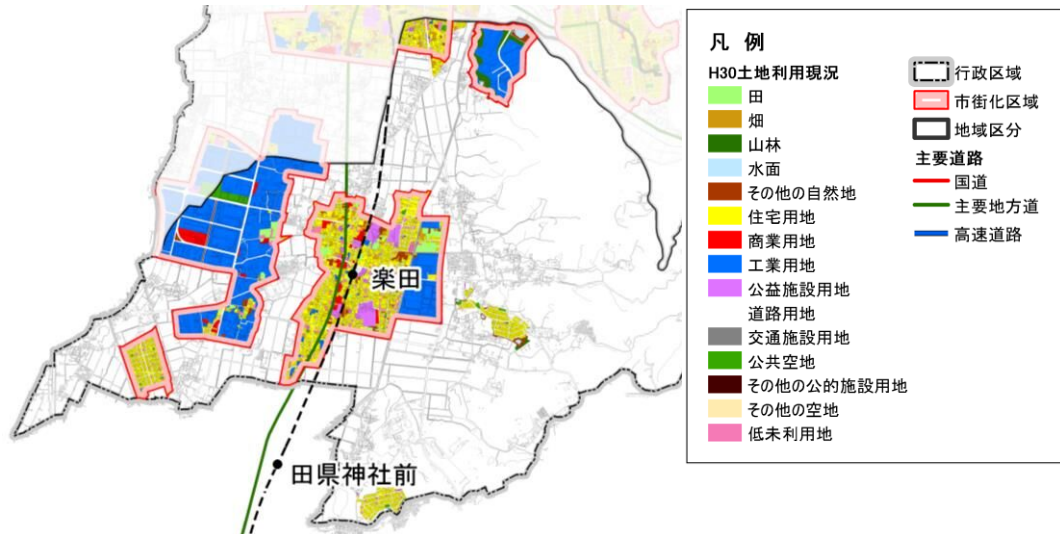
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

■図 楽田地域の階層別人口の推移

※各年3月31日（資料：犬山市）

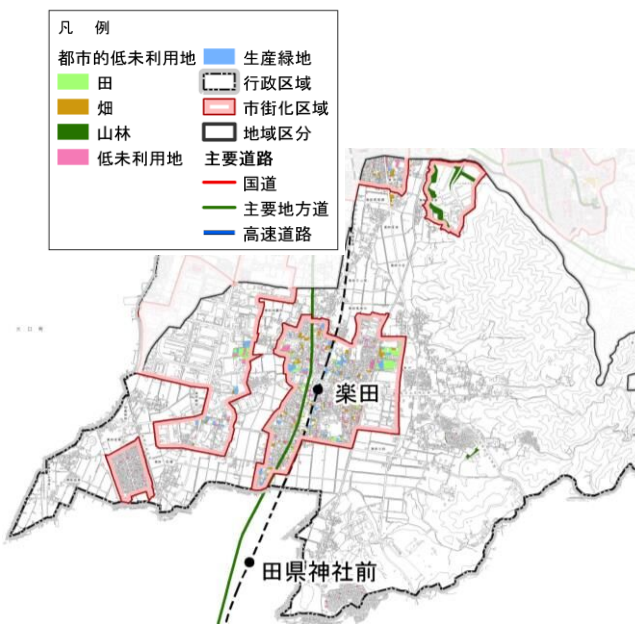
●土地利用

- ・市街化区域は、楽田駅周辺や西楽田団地で住宅地としての土地利用が主体となっており、地域東部では工業地の土地利用が主体となっています。また、地域西部と北部に工業団地が造成されています。
- ・都市的低未利用地は市街化区域全体に分布しています。また、生産緑地は楽田駅周辺に多く見られます。
- ・市街化調整区域は、集落地が点在し、地区計画による大規模住宅団地も造成されています。また、集落地の周辺に農用地が広がり、地域東部は森林となっています。
- ・空家等は市街化区域内に多くみられます。



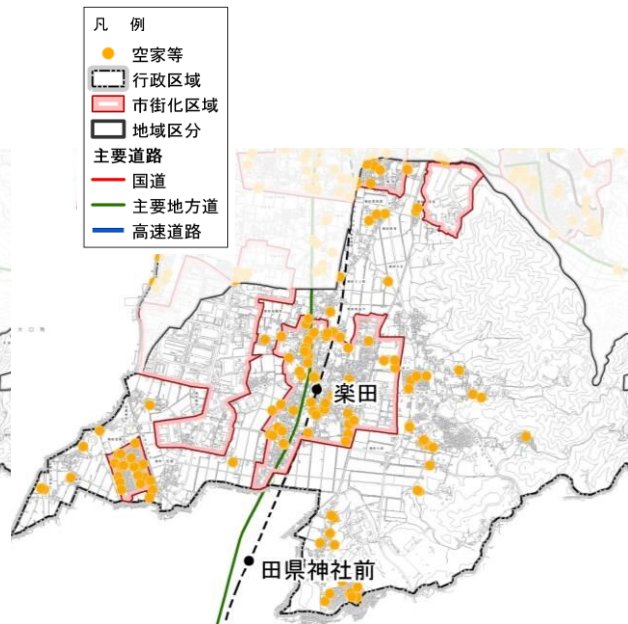
■図 楽田地域の土地利用現況（平成 30 年）

（資料：都市計画基礎調査）



■図 楽田地域の都市的低未利用地と生産緑地

（資料：都市計画基礎調査）

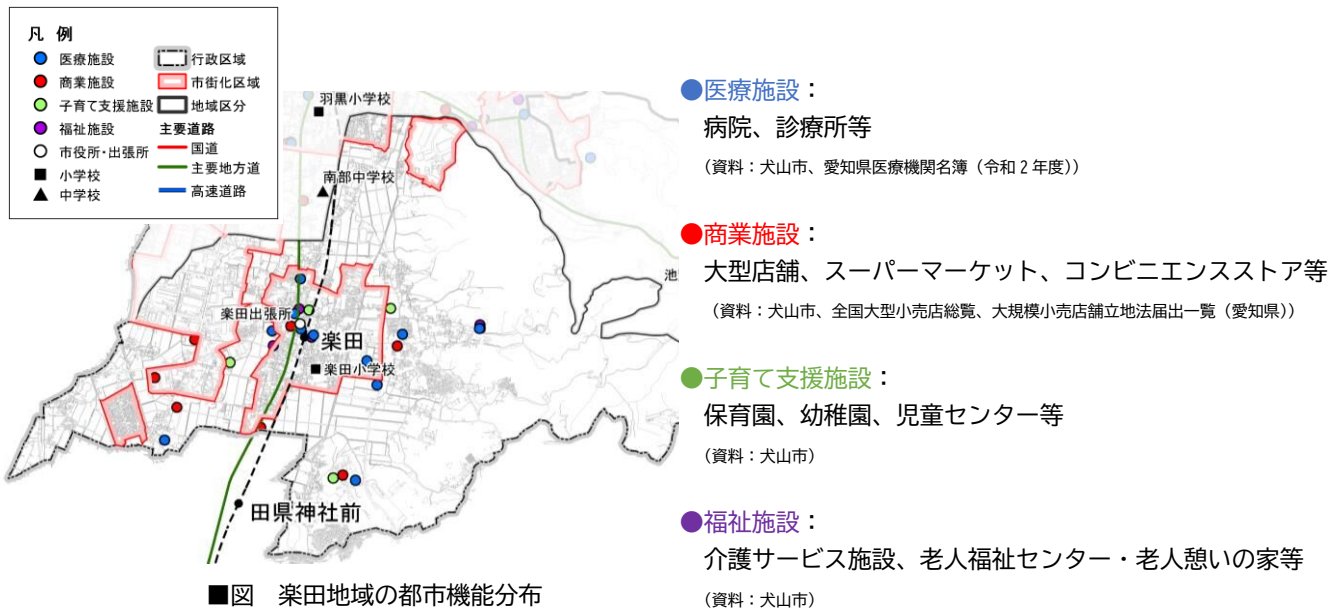


■図 楽田地域の空家等の分布

（資料：犬山市）

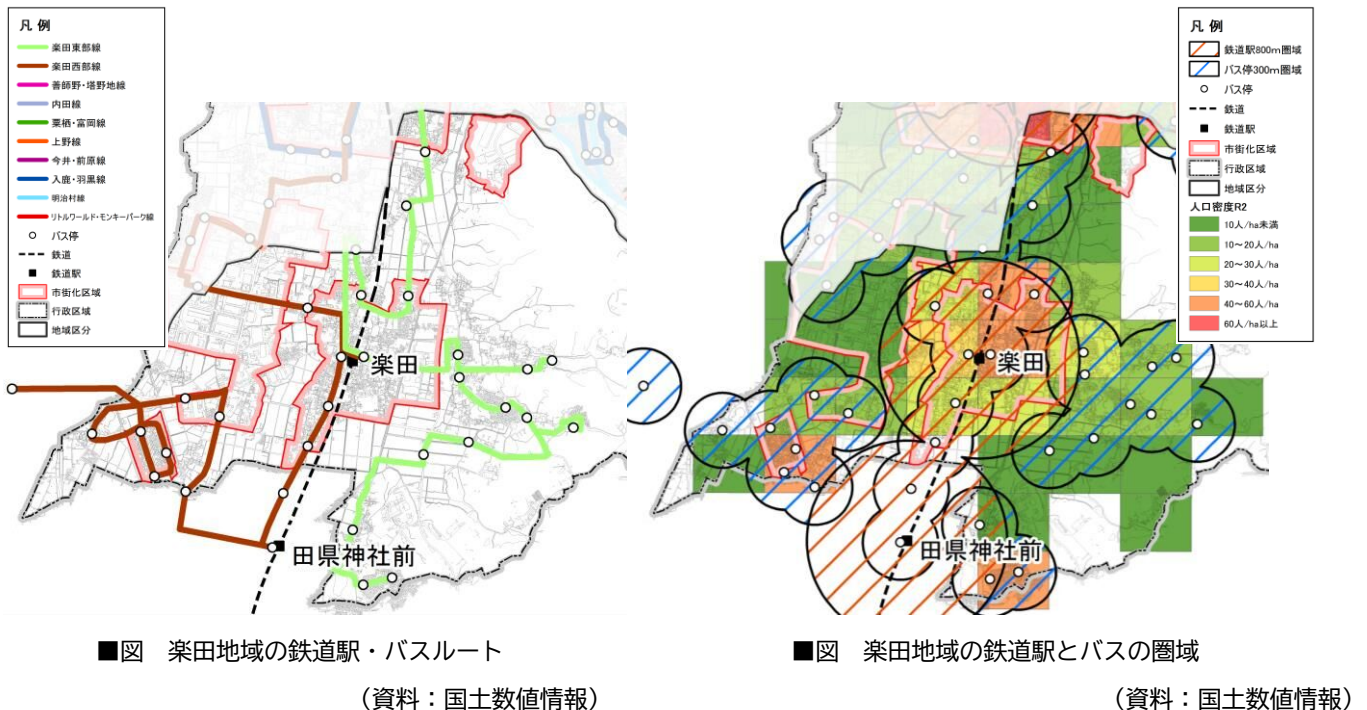
●施設分布状況

- ・楽田駅周辺や幹線道路沿道において日常生活に密接に関連する都市機能が分布しています。



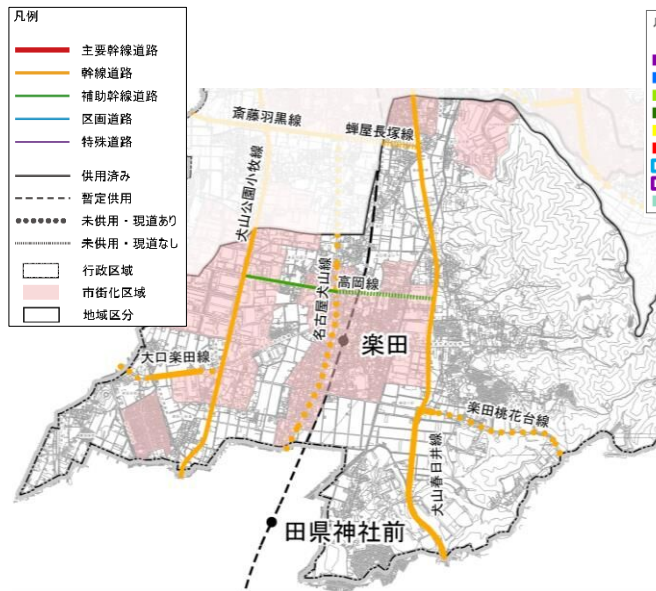
●公共交通

- ・市内鉄道駅は、楽田駅が設置されています。
- ・バス路線(停留所)の設置状況を含めると、集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。



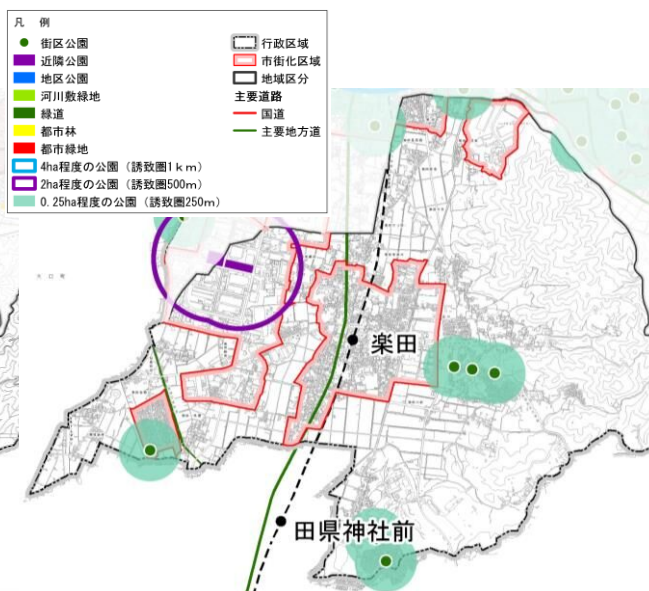
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、地域内の交通を処理する補助幹線道路では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、工業団地や住宅団地のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域や集落地等で誘致圏外が多く見られます。



■図 楽田地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

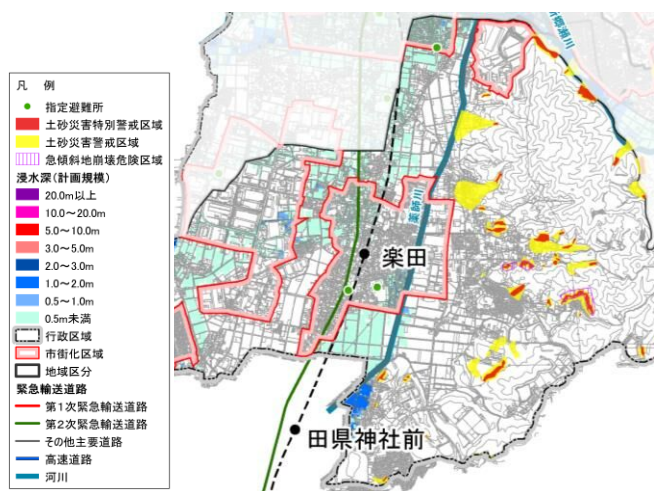


■図 楽田地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

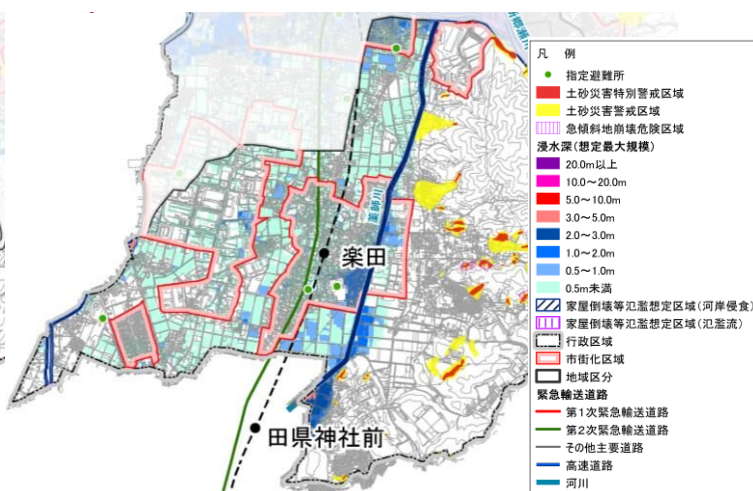
●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模において市街地周辺の農地や工業団地の一部で浸水が想定され、想定最大規模では楽田駅周辺の市街地においても浸水が想定されます。



■図 楽田地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)



■図 楽田地域のハザードマップ（最大想定規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

②楽田地域の住民ニーズ

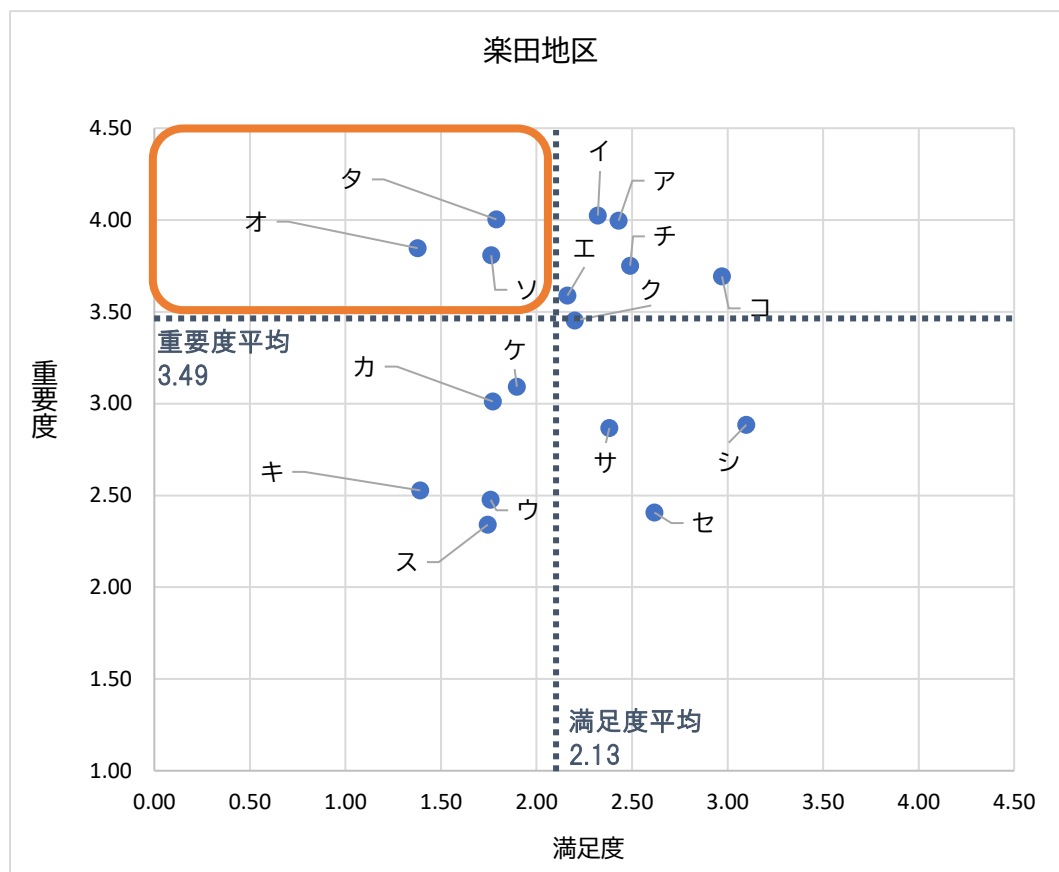
●市民アンケート

・楽田地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の3つがあげられます。

オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている



ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある
 イ 病院など医療・福祉施設が身近にある
 ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある
 エ 道路が整備され、車で移動しやすい
 オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
 カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある
 キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある
 ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
 ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
 サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
 シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
 ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
 セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
 ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
 タ 自然災害への対策が十分されている
 チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ

■図 日常生活環境について（満足度×重要度）楽田地区

（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度（2021年度）に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

楽田地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

楽田地区

- ・小牧線東側を発展させる
- ・大きな会社が増えるとよい
- ・農地を開発、活用してハード整備
- ・楽田駅西におけるまちの利便性向上
- ・コミュニティバスを便利にする
- ・コミュニティバスで市中心に時間をかけずに行けるようにする
- ・道路を整備
- ・お店が増えるとよい
- ・買い物が便利なまち
- ・公園に桜を植えて花見ができるようにする
- ・歴史的な神社をもっと観光化して宣伝する
- ・安心して遊べる場所を確保
- ・安全なまちづくり
- ・高齢者であっても住み続けられるまち
- ・若い人が増えるとよい

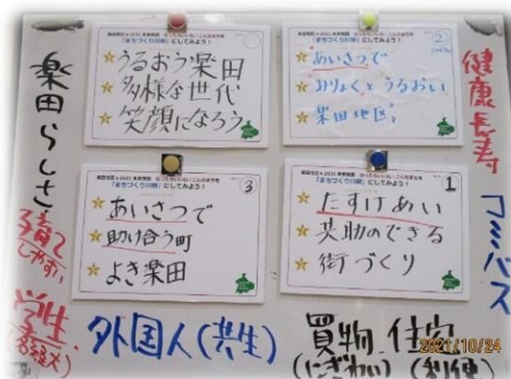
犬山市全体

- ・子育てしやすいまち
- ・外国人が住みやすいまち
- ・スーパーなど買い物ができる場所が多く、便利なまち
- ・みんなであいさつできるまち
- ・みんなでお祭りができる、楽しいまち
- ・健康長寿のまち



自らできること

- ・高齢者に声をかける
- ・子ども達にあいさつする
- ・仲間集めをする
- ・行政に頼りすぎずに、みんなで助け合う
- ・みんなであいさつをする



③楽田地域の主要課題

地域の主要課題については、拠点形成・土地利用、交通、市街地整備等、都市環境、都市防災の視点別に、地域の現況や住民ニーズを踏まえて整理します。

●拠点形成・土地利用の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で本市の人口の17.2%を占めており、平成25年（2013年）以降、減少傾向にあります。 ・市街化区域は、楽田駅周辺や西楽田団地で住宅地主体の土地利用がされており、地域東部に工業地を有しています。また、地域西部と北部には工業団地が造成されています。 ・市街化調整区域には、集落地や地区計画による住宅団地が点在し、その周辺に農用地が広がり、地域東部は森林となっています。 ・楽田駅を中心に日常生活に必要な都市機能が分布しています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『楽田駅周辺の利便性向上、商業施設の立地、企業の立地、農地の開発』といった買い物等の利便性向上や企業誘致、農地の有効活用を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区拠点に位置づけた楽田駅周辺では、駅周辺の市街地や市街化調整区域の住宅団地、集落地等の日常生活を支える都市機能の立地を促進するとともに、道路や公共交通ネットワークの強化により利便性の高い市街地の形成を図ることが必要です。 <p><鉄道駅の利便性を活かした居住機能の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽田駅周辺や田県神社前駅に近接する市内地域では、小牧市や名古屋市へのアクセス利便性を活かした新たな定住人口を受け入れるための居住機能の確保が必要です。 <p><新たな産業用地の形成と既存工業地等の維持></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山公園小牧線や若宮江南線沿線にある既存の工業地周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘案しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。また、既存の工業地においては、地域活力の低下や周辺環境の悪化を招かぬよう操業環境を維持することが必要です。 <p><東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

●交通の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内には楽田駅が設置されています。 ・コミュニティバスの路線（停留所）の設置状況を含めると、楽田駅周辺を中心に集落地や住宅団地が鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。 ・地域間を連絡する都市計画道路（幹線道路）で未整備区間が多く、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、地域内の交通を処理する補助幹線道路では現道のない未整備区間が残っています。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい』、『防犯・交通安全への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでは、道路の整備を求める声や公共交通の利便性向上を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><楽田駅を中心とした交通体系の構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽田駅はコミュニティバスが発着し、自家用車や自転車等からも鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学をはじめとした移動を引き続き支えることが必要です。 ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスなど地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。 <p><地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（都）富岡荒井線が南北に開通し、地域内の交通形態も変化することが予想されるため、地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築を進め、都市基盤が未整備な市街地内の自動車交通を抑制するとともに、安心・安全な歩行環境の創出が必要です。 <p><安心・安全な生活道路の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

●市街地整備等の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地では概ね 40 人/ha 以上の人口密度が維持されており、楽田駅周辺及び西楽田団地で人口密度が高い傾向にある一方、都市的低未利用が広く分布しています。 ・空家等が市街化区域内に多くみられます。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『高齢者であっても住み続けられるまち、安全なまちづくり』といった居住環境の改善を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><既存ストックの活用や市街地整備等による定住の促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の市街地や市街化調整区域の住宅団地における人口密度は高い傾向にある一方、地域の人口は減少傾向にあり、居住機能の集積と居住環境の改善に向けて、空き家や空き地等の都市的低未利用を有効に活用することが必要です。 <p><生活道路など基盤整備による居住環境の改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策など基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進する必要があります。

●都市環境の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の周囲に集落地や農地が広く分布し、東部には森林が広がっており、山の田公園といった比較的規模の大きな公園がありますが、市街化区域では誘致圏外が多く見られます。 ・地域内には青塚古墳や大縣神社といった歴史文化資源のほか、楽田ふれあいセンターといったコミュニティの拠点となる施設が立地しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『公園への桜の植樹、安心して遊べる場所、歴史的な神社の PR』といった公園の活用や地域資源の活用を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山や薬師川といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、ウォーキングなど健康づくりや憩いの場として自然に親しめる空間として活用することが必要です。 <p><伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青塚古墳や大縣神社を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく文化・行事等とともに、周辺の景観や自然環境との調和に配慮しながら歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

●都市防災の視点

<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域東部の傾斜地で土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・薬師川等の洪水により楽田駅周辺の市街地や工業団地の一部で3.0m未満の浸水が想定されています
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも安全なまちづくりを求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

④楽田地域のまちづくり方針

●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<楽田地域のまちづくり目標>

魅力ある地域資源と産業立地が調和した地域活力を生み出すまち

●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

拠点形成・土地利用の方針

主要課題① 地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成

【地区拠点】

- 楽田駅周辺では、居住機能の集約立地と医療、商業等の身近な生活サービス施設など都市機能の充実を図ります。
- 楽田駅周辺の幹線道路においては、居住環境との調和に配慮した沿道商業施設等の立地を促進します。

主要課題② 鉄道駅の利便性を活かした居住機能の確保

【地区拠点】

- 市街化区域に隣接し、鉄道駅など既存ストック等が活用できる新市街地検討エリアでは、農地との調整に配慮しながら、新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討を進めます。

【市外駅近エリア】

- 田県神社前駅に近接する市内地域では、鉄道駅の立地を活かし、条例や地区計画等の活用による住宅立地の緩和（許容）を図りつつ、医療、商業等の身近な生活サービス施設の誘導による利便性の高い居住環境の形成を図ります。

主要課題③ 新たな産業用地の形成と既存工業地等の維持

- 産業基盤の維持・強化に向けて、産業集積誘導エリアにおいて、周辺の居住環境や営農環境との調和に配慮した新たな産業用地を形成します。
- 既存の工業地等については、操業環境の維持を図ります。

主要課題④ 東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用

- 東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地は、都市的な土地利用との調整に留意しつつ、無秩序な土地利用を抑制しながら保全、活用を図ります。

交通

主要課題① 楽田駅を中心とした交通体系の構築

- 楽田駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実に向けて、楽田駅前広場の有効活用を図ります。
- 日常の生活交通となるコミュニティバスを維持するほか、地域の実情に配慮した交通体系の確保を図ります。

主要課題② 地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築

- 地域内における道路交通の円滑化に向けて、(都) 蝉屋長塚線や市道楽田桃花台線の整備を関係機関と連携・協議しながら推進します。

主要課題③ 安心・安全な生活道路の確保

- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムにおける交通安全対策を推進し、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保を図ります。
- 市街地の居住環境や防災性の向上に向けて、幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善を図ります。

市街地整備等

主要課題① 既存ストックの活用や市街地整備等による定住の促進

- 良好な居住環境の形成に向けて、都市的低未利用地や空き家・空き店舗の活用を促進する各種支援制度の運用、周知を図ります。
- 地区計画がある区域においては、地域づくりのルールにより良好な居住環境の形成を推進します。

主要課題② 生活道路など基盤整備による居住環境の改善

- 古くから形成されてきた市街地などにおいては、建て替えの機会を捉えた狭あい道路の解消等により居住環境の改善や都市的低未利用地の宅地を促進します。

都市環境

主要課題① 里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用

- 薬師川沿いの河川空間や里山のハイキングコースといった水と緑のネットワークの有効活用を図ります。

主要課題② 伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上

- 青塚古墳や大縣神社を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく地域固有の歴史、伝統を反映した人々の営みとともに、景観など周辺環境が一体となった歴史的風致等の維持・向上を図ります。

主要課題③ 公共施設の維持・整備

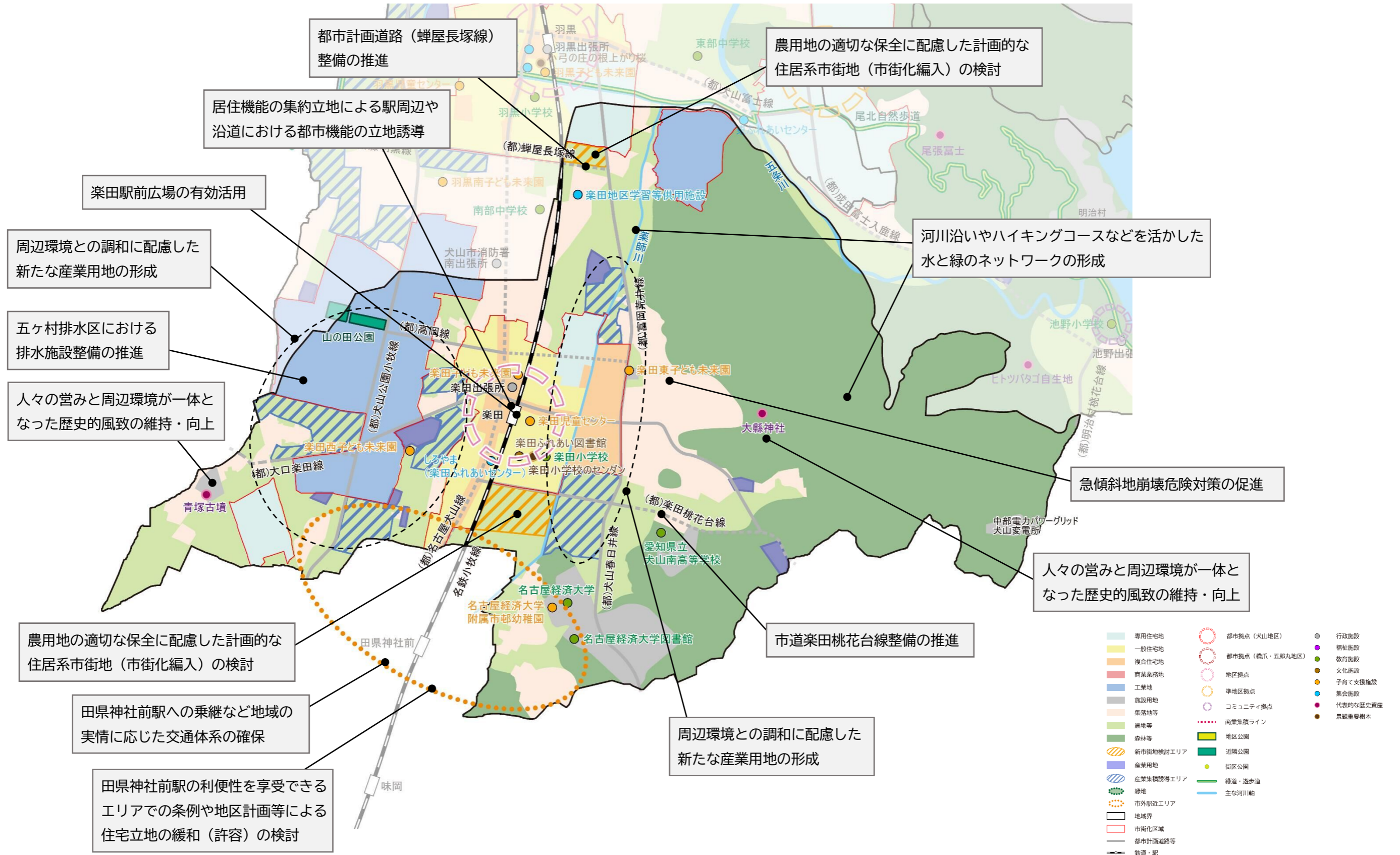
- 都市公園の魅力向上と身近な公園における地域が主体となった取り組みを推進します。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

都市防災

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、雨水排水施設の整備や急傾斜地崩壊対策など基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。

●楽田地域のまちづくり方針図

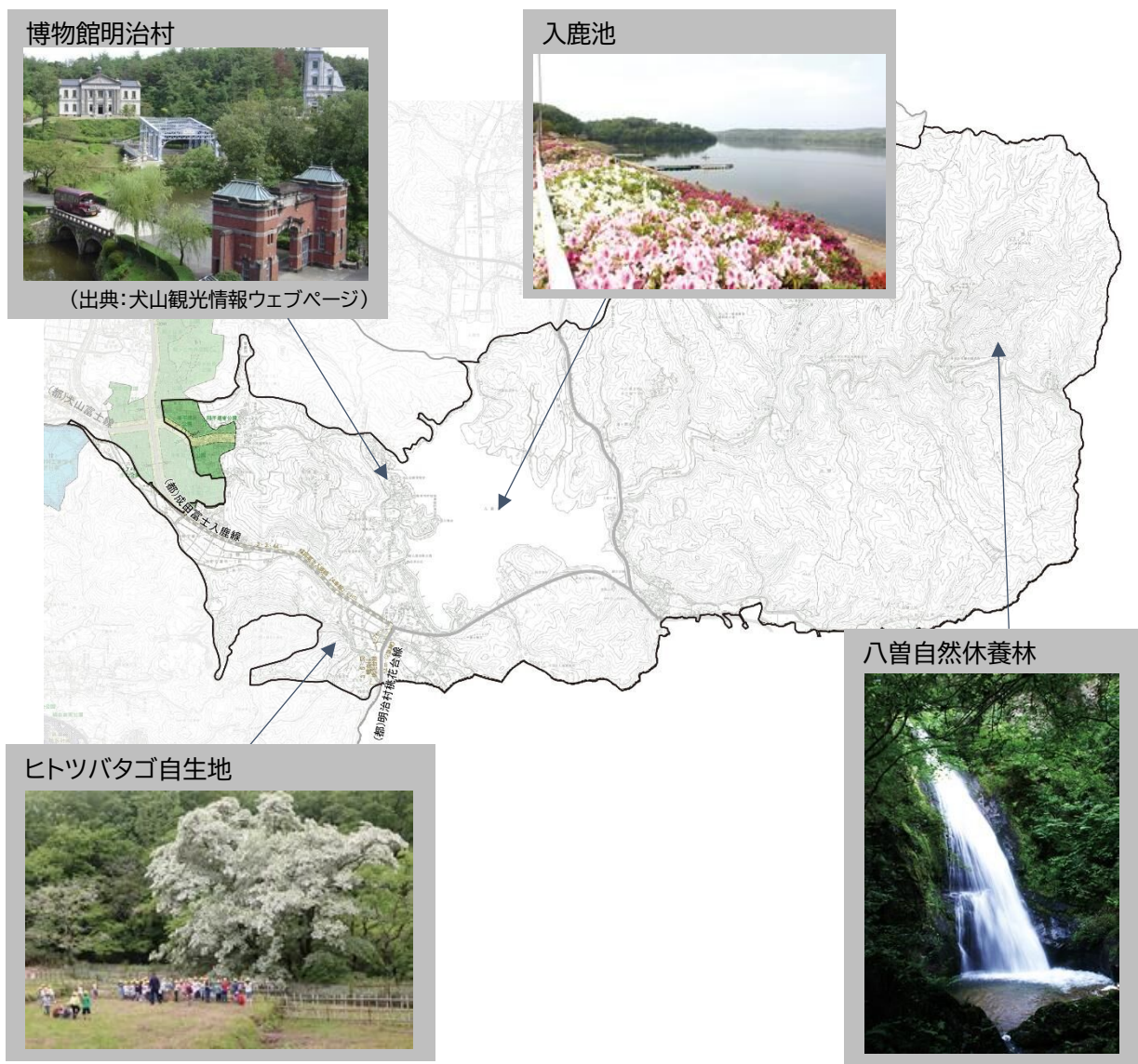


5) 池野地域

①池野地域の現状

●地域の概況

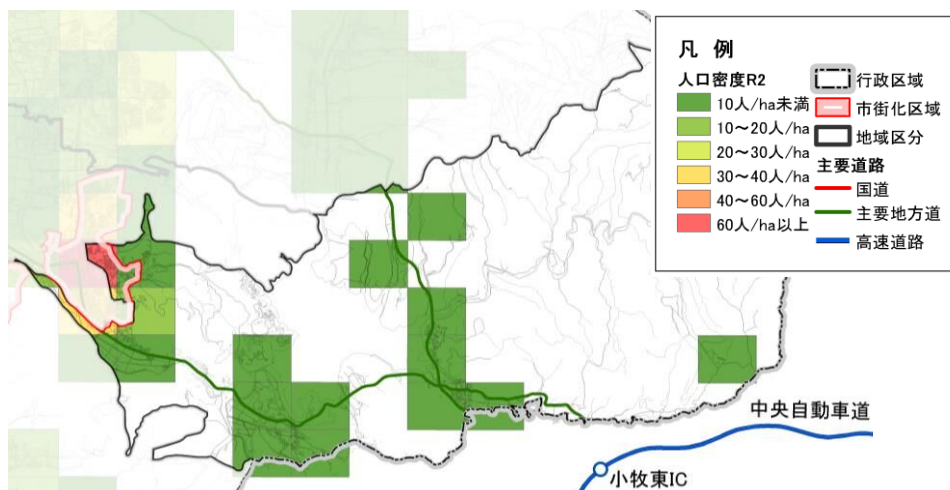
- ・池野地域は市の南東部に位置し、地域南部は小牧市、春日井市、地域東部は多治見市と隣接しています。
- ・地域西部の一部にまとまった住宅地があり、入鹿池周辺に集落地が分布し、地域東部のほとんどが森林となっています。
- ・地域中央に世界かんがい施設遺産に登録された入鹿池や博物館明治村があり、地域西部には尾張富士、東部には八曾自然休養林が広がり、南西部には国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地が存在するなど、歴史文化、観光やアウトドアなどで親しまれる自然豊かな地域です。
- ・地域南部には小牧東 IC が近接しており、高速道路の利用による広域的な交通形態を有する地域となっています。
- ・入鹿池や八曾自然休養林、博物館明治村など多様な地域資源と広域的な道路交通網を活用し、市全体の新たな観光交流を支えることが期待されます。



■図 池野地域の概況

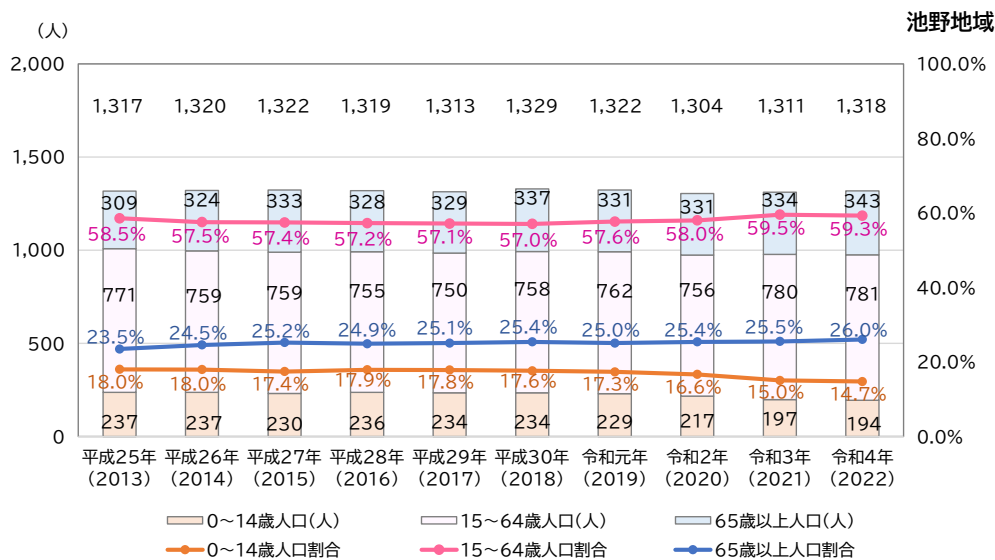
●人口

- ・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で1,318人であり、本市の人口の1.8%に当たります。
- ・人口増減は、微増と微減を繰り返していますが、概ね横ばいで推移しています。
- ・高齢化率は、令和4年（2022年）時点で26.0%と市全体の29.4%より低くなっています。
- ・人口密度は、地域のほとんどが10人/ha未満となっています。



■図 池野地域の人口密度（令和2年）

（資料：国勢調査）



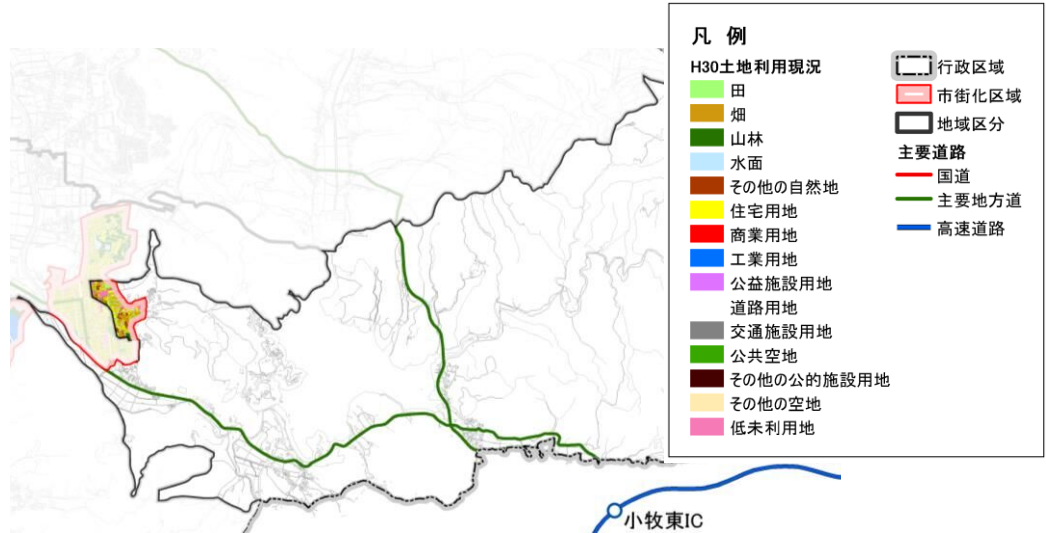
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

■図 池野地域の階層別人口の推移

※各年3月31日（資料：犬山市）

●土地利用

- ・地域西部の一部が市街化区域となっていますが、本地域のほとんどが市街化調整区域であり、地域西部や地域中央部の入鹿池周辺に集落地が分布しています。また、地域西部と東部に農用地が広がり、東部のほとんどが森林となっています。
- ・空家等は、市街化区域内や入鹿池周辺の集落地等に少なからずみられます。



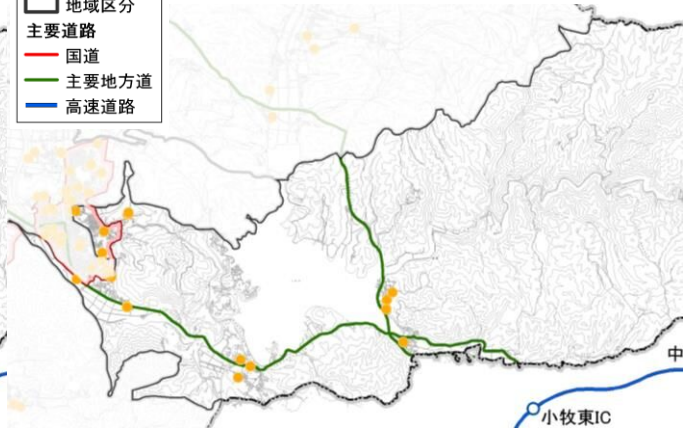
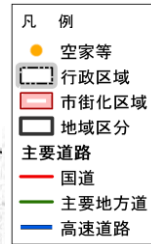
■図 池野地域の土地利用現況（平成 30 年）

（資料：都市計画基礎調査）



■図 池野地域の都市的低未利用地と生産緑地

（資料：都市計画基礎調査）

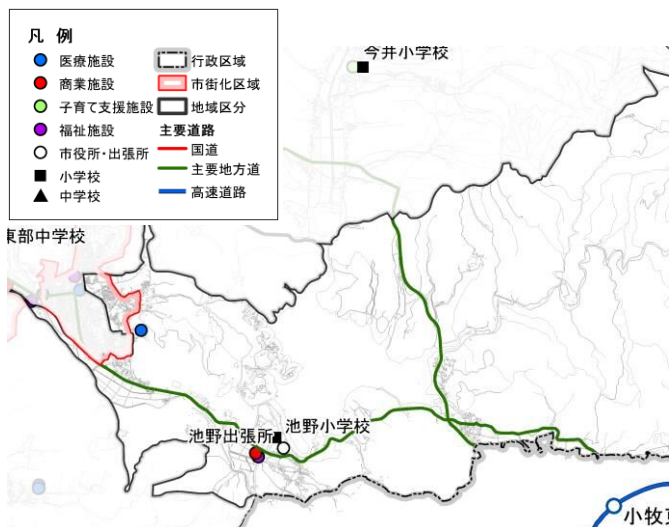


■図 池野地域の空家等の分布

（資料：犬山市）

●施設分布状況

- ・幹線道路沿道にコンビニエンスストアや老人憩いの家が分布しています。また、地域西端に医療施設（療育施設）の分布も見られます。



■図 池野地域の都市機能分布

●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市)

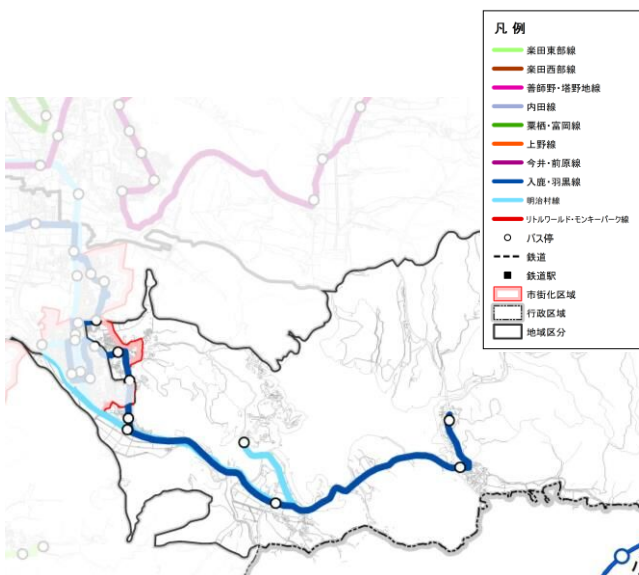
●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市)

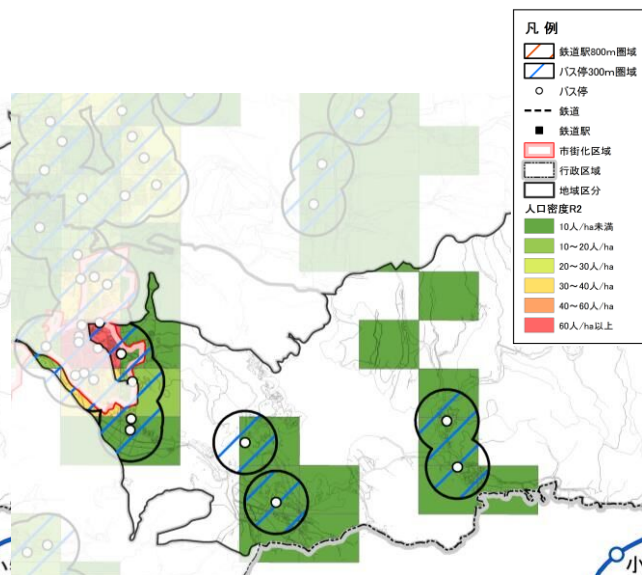
●公共交通

- ・鉄道駅は設置されていません。
- ・バス路線（停留所）の設置状況は、地域西部と入鹿池周辺の集落地はバスの徒歩圏域で概ねカバーされています。



■図 池野地域の鉄道駅・バスルート

(資料：国土数値情報)

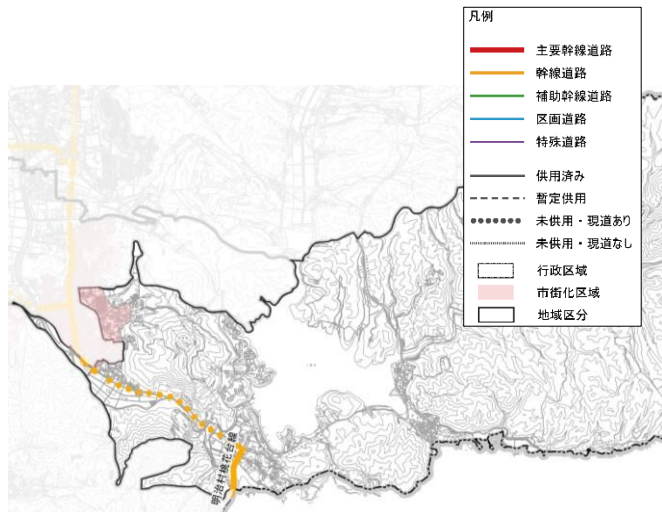


■図 池野地域の鉄道駅とバスの圏域

(資料：国土数値情報)

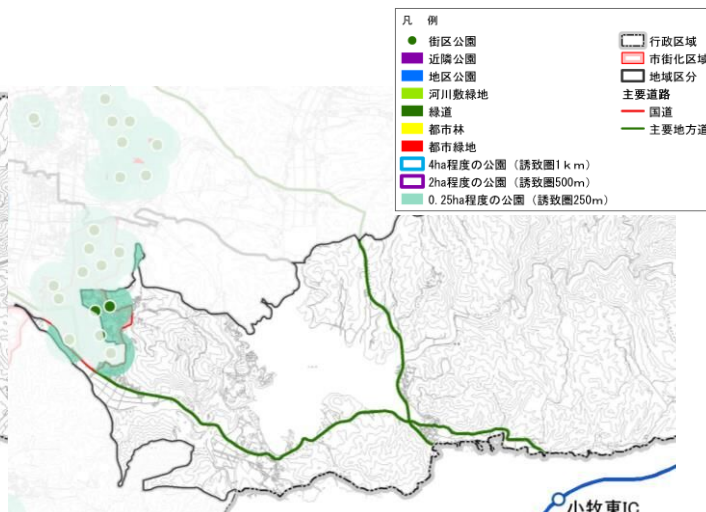
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・市街化区域においては、ほとんどが公園誘致圏に含まれます。
- ・市街化調整区域においては、都市公園は整備されていません。



■図 池野地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

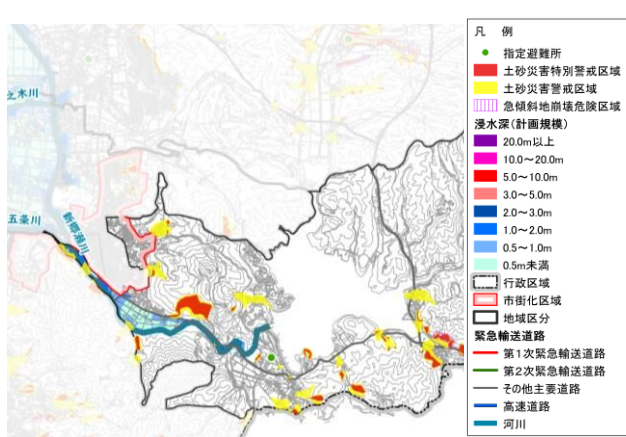


■図 池野地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

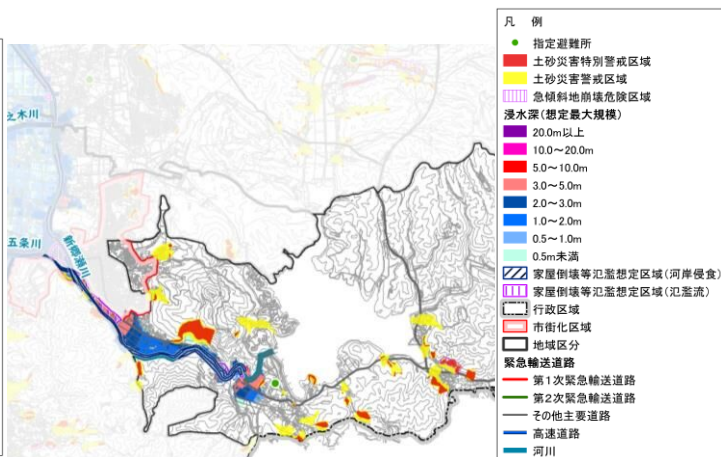
●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域は、入鹿池周辺と地域西部を中心に指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、地域西部の新郷瀬川沿いで浸水が想定されます。



■図 池野地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)



■図 池野地域のハザードマップ（想定最大規模）

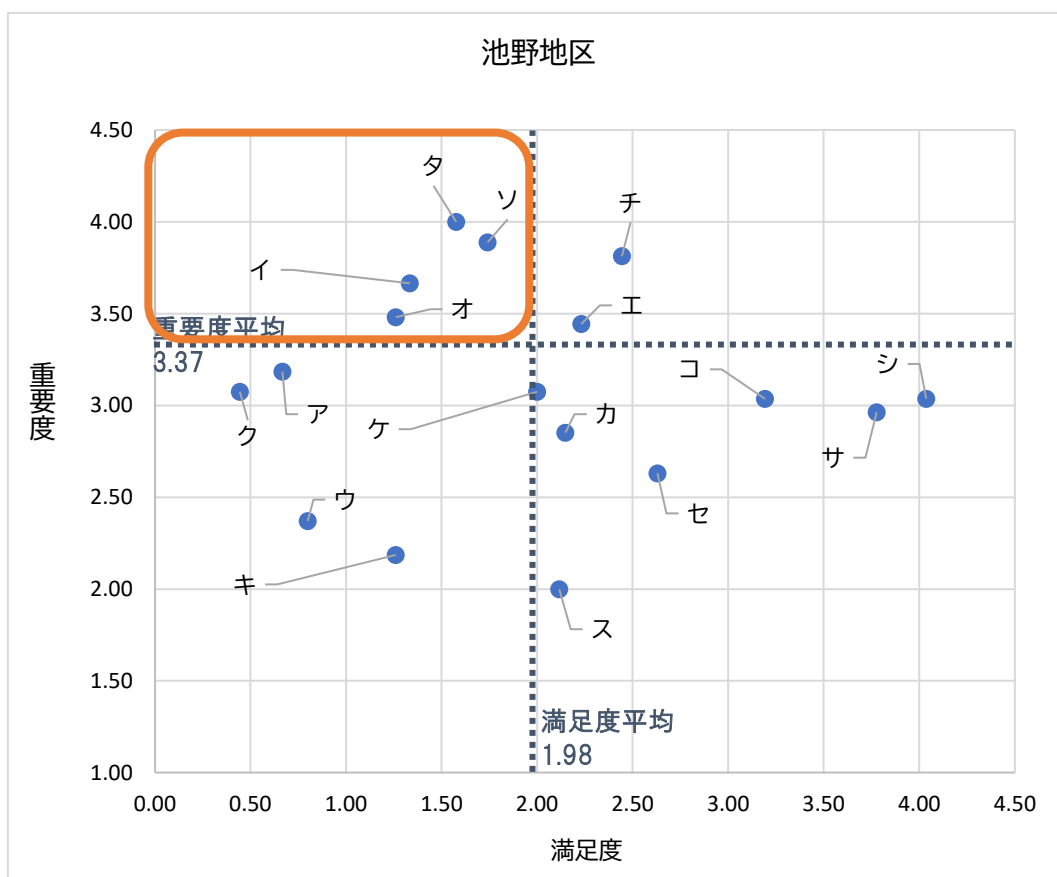
(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

②池野地域の住民ニーズ

●市民アンケート

・池野地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の4つがあげられます。

- イ：病院など医療・福祉施設が身近にある
- オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
- ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている
- タ：自然災害への対策が十分されている



ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある	コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
イ 病院など医療・福祉施設が身近にある	サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある	シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
工 道路が整備され、車で移動しやすい	ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい	セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある	ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある	タ 自然災害への対策が十分されている
ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい	チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ
ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している	

■図 日常の生活環境について（満足度×重要度）池野地区

（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度（2021年度）に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

池野地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

池野地区

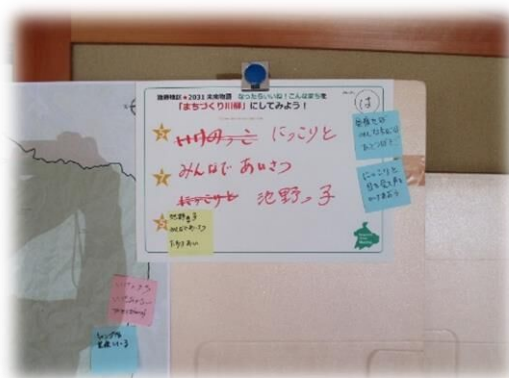
- ・入鹿池周辺を整備（駐車場、トイレ）
- ・空き家がないまち
- ・市街化調整区域で家を建てられるようにする
- ・コミュニティバスとデマンド交通を組み合わせる
- ・自由に使える駐車場を整備する
- ・移動手段が確保されたまち
- ・小学校までの通学路を確保する
- ・増便等による交通利便性の向上
- ・タクシーの相乗り、タクシーチケットの増刷り等による移動支援の充実
- ・道路拡幅、ミラー設置等道路環境の整備
- ・自然を生かした公園づくり
- ・花のあるまち
- ・ウォーキングコース・ハイキングロード等の整備

犬山市全体

- ・利便性のよいまち
- ・犬山城が世界遺産になり、観光客がにぎわうまち
- ・道の駅があるまち
- ・子ども、高齢者にやさしいまち
- ・住民へのサービスが充実するまち
- ・道路環境などが良く整備されているまち
- ・空き家が再利用されるまち

自らできること

- ・あいさつをする
- ・近所との声掛け、助け合ったりすることで、近所づきあいをよくする
- ・入鹿池周りの掃除や施設の草刈りなどをする



③池野地域の主要課題

地域の主要課題については、拠点形成・土地利用、交通、市街地整備等、都市環境、都市防災の視点別に、地域の現況や住民ニーズを踏まえて整理します。

●拠点形成・土地利用の視点

現況	<ul style="list-style-type: none">・地域内の人口は、令和4年（2022年）時点で本市の人口の1.8%を占めており、平成25年（2013年）以降、微増微減を繰り返し、概ね横ばいとなっています。・市街化区域は地域西部のほんの一部で、住宅団地など住宅地主体の土地利用がされています。・市街化調整区域には、入鹿池周辺等に集落地が分布し、地域東部のほとんどが森林となっています。・幹線道路沿いに商業施設が見られるものの、地域内に都市機能はほとんどありません。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none">・市民アンケートでは、『病院など医療・福祉施設が身近にある』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『市街化調整区域で家を建てられるようにする』といった有効な土地利用を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><地域の生活利便性の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティ拠点に位置づけた池野小学校周辺は、日常生活に必要な機能や市街地との生活交通の確保を図り、二地域居住や多自然居住など新たな住まい方の受け皿になるなど、地域コミュニティの維持・充実を図ることが必要です。 <p><東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none">・飛騨木曾川国定公園の森林や里山やまとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

●交通の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅は設置されていません。 ・コミュニティバス路線（停留所）の設置状況は、地域西部と入鹿池周辺の集落地がバスの徒歩圏域で概ねカバーされています。 ・地域間を連絡する都市計画道路（幹線道路）で未整備区間が多く、そのほとんどが現道の拡幅となります。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『通学路の確保』などを求める声が聞かれたほか、『コミュニティバスとデマンド交通の組み合わせ、移動手段の確保』といった公共交通の充実を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><地域内における生活交通の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間部の集落地や住宅団地において交通弱者の日常生活を維持するため、コミュニティバスやデマンド交通など地域の実情に応じた輸送手段の確保が必要です。 <p><安心・安全な生活道路の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

●市街地整備等の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅団地では 40 人/ha 以上の人口密度が維持されていますが、集落地では全体的に低い傾向にあります。 ・空家等は地域内に少なからずみられます。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、空き家の活用、空き家がないまちといった空き家への対策を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><市街化調整区域の集落地等における居住環境の維持・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落地における基盤施設の維持・改善や空き家の発生を抑制するなど居住環境の維持・向上を図ることが必要です。

●都市環境の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域東部には、丘陵地に広がる森林や里山、水辺空間など豊かな自然環境を有しています。 ・地域内の住宅団地は公園誘致圏に含まれますが、集落地のほとんどが誘致圏外となっています。 ・地域内には入鹿池や博物館明治村、尾張富士、国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地など歴史文化、観光資源が多くあります。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『入鹿池周辺の整備、自然を活かした公園づくり、ウォーキングコース・ハイキングロード等の整備』といった地域の豊かな自然環境の活用を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山や入鹿池といった水辺など地域の豊かな自然環境等を保全しながら、自然体験やアウトドア、憩いの場の創出など自然に親しめる空間として活用することが必要です。 <p><伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張富士や入鹿池を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく文化・行事等とともに、周辺の景観や自然環境との調和に配慮しながら歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

都市防災の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・入鹿池周辺と地域西部を中心に土砂災害警戒（特別警戒）区域が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・新郷瀬川の洪水により、地域西部の河川沿いで3.0m未満の浸水が想定されます。また、1000年に1回程度で発生する確率の大雨により一部の低地で3.0m以上の浸水が想定されています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『自然災害への対策が十分されている』、『防犯・交通安全への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあります。
主要課題	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

④池野地域のまちづくり方針

●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<池野地域のまちづくり目標>

訪れて楽しい多様な地域資源を活かした憩いと交流があるまち

●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

拠点形成・土地利用の方針

主要課題① 地域の生活利便性の維持・充実

【コミュニティ拠点】

- コミュニティや日常生活を送る上で必要な機能の維持・確保に向けて、条例や地区計画等の活用による住宅の立地緩和を検討します。

主要課題② 東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用

- 東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地は、都市的な土地利用との調整に留意しつつ、無秩序な土地利用を抑制しながら保全、活用を図ります。

交通

主要課題① 地域内における生活交通の確保

- 日常の生活交通となる拠点間のコミュニティバスを維持しつつ、都市機能の確保が困難な箇所においては、移動ニーズ対応した公共交通体系の確保を図ります。

主要課題② 安心・安全な生活道路の確保

- 主要地方道多治見犬山線の交通安全上支障がある箇所について、関係機関と連携・協議しながら歩道設置を促進します。
- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムにおける交通安全対策を推進し、子どもから高齢者、障がいのある人が安心して安全に通行できる生活道路の確保を図ります。
- 市街地の居住環境や防災性の向上に向けて、幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善を図ります。

市街地整備等

主要課題① 市街化調整区域の集落地等における居住環境の維持・充実

- 良好な居住環境の形成に向けて、空き家の適切な管理や活用を促進する各種支援制度の運用、周知を促進します。

都市環境

主要課題① 里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用

- 入鹿池の水辺空間や里山のハイキングコース、国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地などを活かした水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 里山や水辺空間の保全活動やそれらを利用した観光、アウトドアなど、地域の豊かな自然を交流資源として活用します。

主要課題② 伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上

- 尾張富士や入鹿池を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく地域固有の歴史、伝統を反映した人々の営みとともに、景観など周辺環境が一体となった歴史的風致の維持・向上を図ります。

主要課題③ 公共施設の維持・整備

- 入鹿神尾地区浄化センターなど農業集落排水処理施設の適切な維持管理を図ります。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

都市防災

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、河川改修など基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。

都市計画マスタープランの実現に向けて

(白紙ページ)

第8章 実現化方策

1 都市づくりの目標達成に向けた取り組み

1) 多様な主体による都市づくりの推進

都市計画マスタープランは、土地利用や交通体系、都市基盤整備など住民に身近なまちづくりに関する指針となるものです。本計画の推進あたっては、市民と行政、NPO やコミュニティ活動団体、ボランティア組織をはじめとする各種団体、企業などの民間事業者との協働、これら多様な主体との総動によって都市づくりの実効性を高めることが重要です。この取り組みは、以下のような基本的な考え方により効率的かつ効果的な実践に努めます。

①情報の共有化

- ・多様な主体による都市づくりの推進に取り組むため、広報紙やホームページ、SNS の活用のほか、パンフレットや事業を案内するチラシ、かわらばんなど多様な媒体を活用し、都市づくりに関する情報などを市民にわかりやすく発信し、まちづくりに関する情報を共有します。

②市民参加の推進

- ・各種計画づくりへの参加機会の拡充を図るとともに、各種活動団体等のまちづくりに関する活動等を支援します。

③民間活力を活かしたまちづくりの実践

- ・民間事業者等の活力やノウハウの活用を図ることで、効率的で効果的なまちづくりの可能性を広げ、道路や公園、河川などの公共空間における魅力的な空間形成の検討など、民間活力を活かしたまちづくりの実践を推進します。

④関係機関との連携によるまちづくり推進体制の構築

- ・都市計画事業等の事業化や事業の円滑な推進のため、国や県、周辺自治体やその他機関と調整・協力体制の充実を図るとともに、専門家やアドバイザーといった人的ネットワーク、プラットフォームの活用により技術的なサポート体制の構築に努めます。

2) 都市計画制度の適切な運用

本計画で定めた都市づくりの方針に基づき、区域区分や用途地域等、土地利用に関する都市計画制度の適正な運用を図ります。また、必要に応じて都市計画の決定や見直しなどを行うとともに、都市計画事業の推進や各種補助事業・制度の活用等により都市基盤の整備を進めます。

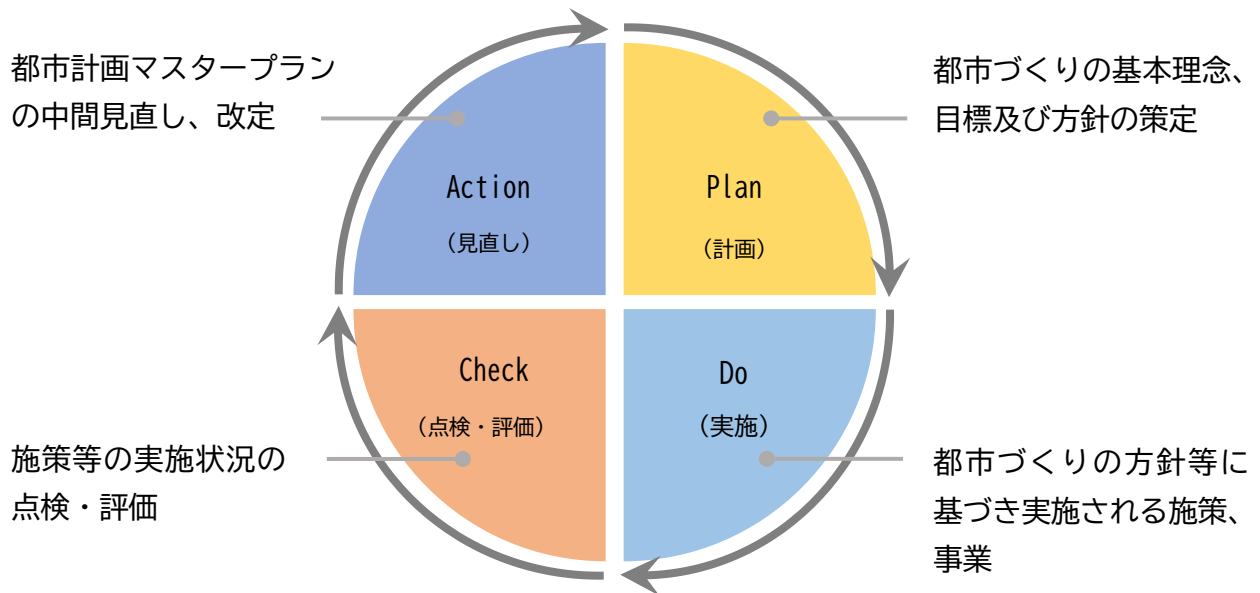
2 計画の進捗管理

1) 適切な計画の見直し

第6次犬山市総合計画をはじめ本計画の上位計画に大きな変更が生じた場合や今後の社会経済情勢の変化等により新たな課題、住民ニーズへの対応が必要となった場合は、必要に応じて本計画を適切に見直します。

2) 進捗状況の把握、評価

本計画は第6次犬山市総合計画に即した計画であり、総合計画で実施される定期的な評価を踏まえながら本計画の進捗状況を管理します。これにより、各方針（PLAN）に基づく施策、事業を実施（DO）し、それら施策の実施状況や達成状況を把握・評価（CHECK）することで、方針などの改善・見直し（ACTION）を行います。



■図 PDCA サイクル